

取扱説明書

保証書付

石油給湯機付ふろがま

OTX-4707シリーズ

OTX-4717シリーズ

OTX-3707シリーズ

OTX-3717シリーズ

高圧力型石油給湯機付ふろがま

OTX-H4707YSV

OTX-H4717YSV

OTX-H4707FV

はじめに

ご使用前に

使いかた

ユーザー設定

必要なとき

困ったとき

ご参考



事前にご確認ください

このたびは弊社製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます

- この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、別売品の取扱説明書がある場合は、必ずそちらも併せてお読みください。
- 保証書(P43)は必ずお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめてください。
- この取扱説明書(保証書付)はいつでもご覧になれるところに保管してください。

文中の(P○)の数字は参照ページを表します

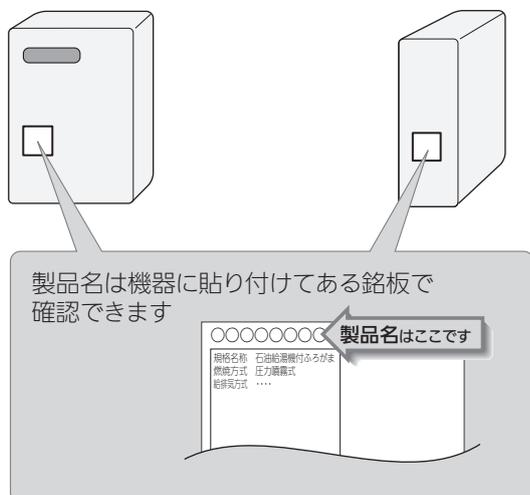
説明中のリモコン表示画面は一例です

- 実際の表示画面は、設置状態や使用状況によって異なります。

製品名の確認のしかた

【OTX-(H)4707Yシリーズ、OTX-3707Yシリーズの場合】

【OTX-(H)4707Fシリーズ、OTX-(H)4717シリーズ、OTX-3707Fシリーズ、OTX-3717シリーズの場合】



もくじ

はじめに

事前にご確認ください	2
製品名の確認のしかた	2
もくじ	2
特に注意していただきたいこと	3

ご使用前に

使用前の準備	9
しくみ	12
各部のなまえとはたらき(機器本体)	12
各部のなまえとはたらき(浴室リモコン)	15
各部のなまえとはたらき(台所リモコン)	16
台所リモコンで時計を合わせる・時計を表示させる	17

使いかた

お湯の温度を調節してお湯を出す・お風呂のお湯はりをする	18
お湯の温度を調節できないときは<優先切替>	20
お風呂を沸かす・沸かし直す・湯温を保つ<ふろ保温>	21
自動保温の時間を変更する	22
ぬるいお風呂のお湯を沸かす<追いだき>	22
リモコンの音量を変更する<音量>	23
浴室から台所を呼び出す<呼出>	24

ユーザー設定

使い勝手にあわせて設定を変更する	24
------------------	----

必要なとき

凍結による破損を予防する	27
長期間使用しないとき(水抜き)のしかた	28
日常の点検・お手入れのしかた	29
定期点検(有料)	32
部品交換のしかた	32
法定点検について	32

特に注意していただきたいこと

困ったとき

故障・異常かな?と思ったら……………	34
リモコンに3桁の英数字が点滅しているとき ＜故障表示＞……………	37

ご参考

据え付け……………	38
主な仕様……………	39
無料修理保証書……………	43
アフターサービス……………	44

- お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

⚠警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定されます。

⚠注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定されます。

お願い

安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

はじめに

⚠警告 使用燃料について



●ガソリン厳禁

灯油(JIS 1号灯油)を必ず使用してください。
ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災のおそれがあります。

⚠注意 使用燃料について



●不良灯油(変質灯油・不純灯油)を使用しない

変質灯油(日光の当たる場所や温度の高い場所で保管して変質した灯油)や、不純灯油(灯油以外の油・水・ゴミなどが混入した灯油)などの不良灯油は使用しないでください。機器の故障の原因になります。

お願い 使用燃料について

●灯油は必ず火気・雨水・ゴミ・高温・直射日光を避けた場所に保管する

灯油が変質する原因になります。

(つづく)

⚠️ 注意 異常のあったとき



●異常時はただちに使用を中止する

必ず守る 異常燃焼・異常臭気を感じたときや、地震・火災などの緊急時は、次の手順に従ってください。

- ①給湯栓を閉める
- ②運転スイッチを「切」にする
- ③送油バルブ・給水元栓を閉める
- ④販売店または弊社窓口へ連絡する

火災・感電・故障などの予防のため。



●油漏れやにおい、ススの発生、故障表示をくりかえすなど、異常や故障と思われるときは使用しない

禁止

思わぬ事故の原因になります。「故障・異常かな?と思ったら」「リモコンに3桁の英数字が点滅しているとき」に従って処置してください。

🙏 お願い 雷・停電・断水などのとき



電源プラグを抜く

●雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグを電源コンセントから抜く(またはブレーカーを「切」にする)

ぬれた手でさわらない(感電のおそれがあります)



ぬれ手禁止

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



感電注意

雷がやんだあとは電源プラグを電源コンセントに差し込み(またはブレーカーを「入」にし)、リモコンの時計を合わせてください。

※冬期は、電源を長時間切っていると凍結のおそれがあります。

※落雷被害に有効な火災保険へのご加入をおすすめします。

●断水時は運転を停止し、給湯栓を閉める

給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。

●断水復帰後の使いはじめのお湯は飲まない、調理に使用しない

断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管にとどまることがあります。

●断水復帰後は、給湯栓から充分水を流してから使用する

●停電後や、長期不在などで電源プラグを抜いたあと(またはブレーカーを「切」にしたあと)は、リモコンの現在時刻を確認する

時計がリセットする場合があります。

●停電すると、運転が停止します

⚠️ 注意 長期間使用しないとき



電源プラグを抜く

●長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜くとともに、凍結を予防するため、必要な処置をしてください。(P27~29)

火災や思わぬ事故の原因になります。

🙏 お願い 積雪時・凍結予防

●積雪時には給気口・排気口・(給)排気筒トップの点検、除雪をする

雪により給気口・排気口・(給)排気筒トップがふさがれると、機器の故障の原因になります。

●凍結による破損を予防する(P27~29)

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な対策をしてください。

凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

⚠️ 警告 給湯・お風呂の使用時



高温注意

●シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する

やけど予防のため。

・「6」「7」の高温で使ったあと、あらためて使用するときには特に注意してください。

・お湯の使いはじめは正常な温度でも、使用中に熱くなる場合があります。熱いお湯が出た場合は、すぐに使用を中止してください。なお、使用中にお湯が熱くなる状態が続く場合は機器故障の可能性があるので、販売店または弊社窓口にご連絡ください。

・夏場などの水温が高いときやお湯の量を絞って使ったとき、設定温度より高い温度のお湯が出る場合は、湯量を増やしたり水を混ぜたりしてから湯温を確認して使用してください。





●浴槽の湯温を手で確認してから入浴する
やけど予防のため。



●ふろ運転中は、循環アダプターから熱いお湯が出るのでさわらない
やけど予防のため。



●お湯を高温に設定しているときは、高温水に直接ふれないよう注意する
やけど予防のため。

●給湯温度に関係なく、給湯栓から高温のお湯が出る場合があるため(P12)、注意する
やけど予防のため。

ふろ運転中やふろ運転直後に給湯温度を下げたり、リモコンの優先切替をして高温から低温に給湯温度を戻した場合などは、高温のお湯が貯湯槽に残っているため、しばらくは高温のお湯が出ます。

●凍結予防がはたらいたときに循環アダプターから高温のお湯が出ることもあるため注意する



●シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチを「切」にしたり、「優先」を切り替えたりしない

高温に変更されたときのやけど予防のため。
また、低温に変更されたり運転スイッチを「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。



注意 給湯・おふろの使用時



●浴槽のふたの上に乗ったり手をついたりしない

ふたが外れておぼれたり、やけどなど思わぬ事故の原因になります。

●お湯の中にもぐったり、循環アダプターのフィルターを外して使用しない

運転中に体の一部や髪の毛などが吸い込まれて、おぼれたり、ケガをするおそれがあります。



●子供を浴室内で遊ばせない、子供だけで入浴させない

禁止 やけどやケガなど思わぬ事故の原因になります。

お願い 給湯・おふろの使用時

●浴槽の循環アダプターをタオルなどでふさがない、穴に物を詰めない

おふろ沸かしができません。
機器の故障の原因になります。



●機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない
雑用水として使用してください。

●硫黄(イオウ)を含んだ入浴剤は使用しない

●バスソルトなど塩分の強いもの、乳白色(白濁)のものを使用するときは、保温や追いだきをしない
使用後はすぐに排水する

●入浴剤・ふろがま洗剤・洗剤などを使用するときは、注意書きをよく読み、正しく使用する
入浴剤・ふろがま洗剤の種類によっては、機器の熱交換器を腐食させたり、ポンプの能力が低下する原因になるものがあります。

これらを使用して追いだきしたときに、異常音が出たり、追いだきできなくなる場合は、使用をやめてください。

●運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない

お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。

運転スイッチ「切」時にお湯側から長時間水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になる場合があります。
シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。



注意 リモコンの取り扱い



●リモコンのスピーカーに耳を近づけない

大きな音が出る場合があり、聴覚障害などを引き起こす原因になります。

●リモコンには磁石を使用しています

磁石の力は非常に微弱ですが、ペースメーカーなど医療機器を使用している方は、医師とご相談のうえ使用してください。

(つづく)

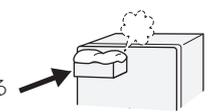
お願い リモコンの取り扱い

- リモコンを子供がいたずらしないよう注意する
- リモコンのふたに衝撃を与えない
リモコンのふたが破損する原因になります。
ふろふたを取り扱うときなどは、リモコンのふたに当たらないよう注意してください。
- 台所リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない
炊飯器、電気ポットなどに注意。故障の原因になります。
- 浴室リモコンに故意に水をかけない
防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。
- 浴室リモコンに、シャンプー・リンス・入浴剤などを故意にかけない
変色などの原因になります。

警告 機器とその周辺の注意

- 【屋内設置・強制給排気形の場合】
給排気筒トップの閉塞危険
給排気筒トップのまわりが雪でふさがれたままで使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。閉塞していると運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。
- 【屋内設置・強制排気形の場合】
排気筒トップの閉塞危険
排気筒が詰まったり、ふさがったままで使用しないでください。
閉塞していると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。
- 【屋内設置・強制給排気形の場合】
給排気筒外れ危険
給排気筒(管・ホース)は、穴があいたり、外れたりしたままで使用しないでください。
穴があいたり外れたりしていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。
- 【屋内設置・強制排気形の場合】
排気筒外れ危険
排気筒は、穴があいたり、外れたりしたままで使用しないでください。
穴があいたり外れたりしていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。

注意 機器とその周辺の注意

- 高温部接触禁止
燃焼中や消火直後は排気口・(給)排気筒トップ・排気筒やその周辺に手などふれないよう注意してください。
やけどのおそれがあります。
- 【排気方向を上方へ変更するカバーを取り付けている場合】
必ず守る
カバーに雪が積もっていたら、除雪する
雪で排気が閉塞すると、不完全燃焼や機器の故障の原因になります。除雪する 
- オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないことを確かめる
油漏れにより、火災の原因になります。
- 【屋内設置形の場合】
ゴム製送油管にひび割れや亀裂がないことを確認する(ひび割れや亀裂が見た目上ないときは、ゴム製送油管を少し曲げて確認する)
ひび割れや亀裂があった場合は交換してください。また、ゴム製送油管は時間とともに劣化するため、3年に1回は交換してください。油漏れにより、火災の原因になります。
- 外壁の塗装や増改築、建物の修繕時などに機器本体・(給)排気筒トップが養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない
不完全燃焼や一酸化炭素中毒、爆発点火の原因になります。
- 燃えやすい物を機器本体や排気口・(給)排気筒トップのまわりに置かない(洗濯物、新聞紙、灯油など)
- ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器本体や排気口・(給)排気筒トップのまわりで使用しない
火災の原因になります。
- スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを機器本体や排気口・(給)排気筒トップのまわりに置かない、使用しない
熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。



●排気口・(給)排気筒トップのすぐ前に物を置かない

禁止 異常燃焼や火災の原因になります。

●給気口・排気口・(給)排気筒トップに指や棒を入れない

ケガや故障の原因になります。

●子供を機器の周囲で遊ばせない

思わぬ事故の原因になります。

お願い 機器とその周辺の注意

●機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然としていると、機器の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

●排気ガスが直接建物の外壁・窓・アルミサッシなどや、物置などの塗装品などに当たらないように設置する

増改築時も同様に注意する

ガラスが割れたり、変色したり、塗装がはがれたりする原因になります。

●塀などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流りが停滞しないように考慮する

塀などと機器や(給)排気筒トップとの間に十分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。また、機器や(給)排気筒トップの周囲の空気の流りが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。(点検・修理に必要な空間については、販売店または弊社窓口に確認してください)

●植物やペットなど、排気ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものを、排気口・(給)排気筒トップの周囲に置かない

お願い リモコンの設置環境

●台所リモコンは0℃～40℃の室温で、浴室リモコンは0℃～50℃の室温で使用する

故障の原因になります。

●浴室リモコンを設置している浴室で、ドライサウナを使用しない

ミストサウナを使用される場合も、50℃以下の室温でご使用ください。



注意 機器のメンテナンス



●電源プラグのホコリは定期的に取り除く
ホコリがたまると、火災の原因になります。
必ず守る 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

●機器の点検・お手入れ・水抜きをする場合、運転スイッチを「切」にする

やけど予防のため。

運転スイッチ「切」後も、しばらくは貯湯槽のお湯が熱くなっているため、気をつけて作業してください。

●機器の給気口がホコリ・ゴミなどでふさがっていないか確認する

不完全燃焼の原因になります。



お願い 機器のメンテナンス

●スス取り剤を使用しない

スス取り剤を使用すると、熱交換器などの損傷を起こす場合がありますので、絶対に使用しないでください。

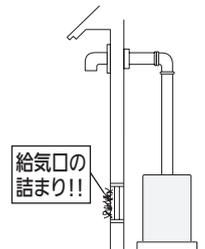


注意 リモコン・その他のメンテナンス



●【屋内設置・強制排気形の場合】
建物の給気口が、ホコリ・ゴミなどでふさがっていないか確認する

不完全燃焼の原因になります。



お願い リモコン・その他のメンテナンス

●リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

●リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤やベンジン・シンナーなどの有機溶剤、メラミンスポンジを使用しない

変色・変形・傷・割れなどの原因になります。

●浴槽、洗面台はこまめに掃除する

水中に含まれる微量の銅イオンと人体のアカやせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して浴槽や洗面台が青く着色することがあります。こまめに掃除をして湯アカやせっけん成分を洗い流すことで、これを予防できます。

(つづく)

お願い リモコン・その他のメンテナンス(つづき)

●浴槽の循環アダプターのフィルターはこまめに掃除する

ポンプ故障の予防のため。

⚠️注意 機器の設置や接続



●【製品名に「V」を含む場合】

太陽熱温水器とは絶対に接続しない

禁止 お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。

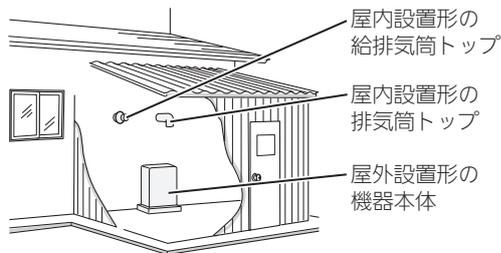
●【製品名に「V」を含まない場合】

太陽熱温水器との接続時の注意

- ・太陽熱温水器と接続できますが、設定した給湯温度に関係なく高温のお湯が出るなど、やけどのおそれがありますので、注意して使用してください。
- ・機器を燃焼させずに太陽熱温水器のお湯をそのまま使いたい場合は、運転スイッチを「入」にし、給湯温度を「1」に設定して使用してください。

●増改築などで屋内状態にしない(波板囲いなどをしない)

一酸化炭素中毒・火災の原因になります。



●ゴム製送油管を屋外で使用しない

油漏れにより、火災のおそれがあります。



●この機器の電源はAC100V、50Hzまたは60Hz用です

必ず守る 他の電源で使用すると、故障・火災の原因になります。

お願い 機器の設置や接続

●温泉水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

●【OTX-Hシリーズの場合】

井戸水・地下水で使わない

この機器は上水道用です。給水には上水道を使用してください。

●【OTX-Hシリーズ以外で製品名に「-SLP」を含まない場合】

井戸水・地下水を使用時の注意

井戸水・地下水を給水したことにより発生した析出物(炭酸カルシウムなど)に起因する不具合の修理は、保証期間内でも有料になります。

⚠️注意 電源プラグ・電源コードの扱い



●傷んだ電源プラグ、緩んだ電源コンセントは使用しない

禁止 感電、発熱による火災の原因になります。

●電源コード・電源プラグを破損させない、加工しない

束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物や載せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。

感電、ショート、火災の原因になります。



●電源プラグはぬれた手でさわらない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止



感電注意



●電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く

必ず守る コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。

●電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不十分だと、感電や火災の原因になります。

⚠️警告 その他の注意



●お客さまご自身では絶対に分解・修理・改造はおこなわない

分解禁止 思わぬ事故や故障の原因になります。

●スマートフォン、IT機器を使ってリモコンのスイッチを操作する外付け装置※は、安全性を確認できないため使用しない

※スイッチ付近に設置し、インターネット通信等を介して、スイッチを操作できる装置

⚠注意 その他の注意

●給湯、シャワー、お風呂以外の用途には使用しない
 禁止 思わぬ事故を予防するため。

●機器取り替えと乾電池に関するお願い

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。

もしお客さまで旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

お願い その他の注意**●運転ランプの消灯を確認する**

おやすみやお出かけになるときは、運転スイッチ「切」の状態であることを確認してください。

●業務用の用途では使用しない

この製品は家庭用ですので、業務用の用途で使用すると製品の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

●この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

●一般的な使用で10年相当使用すると「点検お知らせ機能」がはたらいて、リモコンに「888」を表示します

機器は使用できますが、安全・安心のために点検(有料)をご検討のうえ、弊社窓口にお申し込みください。

●冬期の入浴について

冬期など浴室・脱衣室と居室の温度差が大きいたまは、急激な温度変化による身体への悪影響(ヒートショック)によって、特に高齢者は入浴時の事故につながるおそれがあります。入浴時に暖房機器で浴室と脱衣室をあたためるなどしてください。浴室をあたためるには、シャワーでお湯を流したり、浴槽にふたをしないでお湯はりする方法もあります。

使用前の準備

- 初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

⚠注意

⊘ 排気口・(給)排気筒トップのすぐ前に物を置かない

禁止 異常燃焼や火災の原因になります。

⊘ 燃えやすい物を機器本体や排気口・(給)排気筒トップのまわりに置かない(洗濯物、新聞紙、灯油など)

禁止 火災の原因になります。

! オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないことを確かめる

必ず守る 油漏れにより、火災の原因になります。

燃料**⚠警告****ガソリン厳禁**

⊘ 灯油(JIS 1号灯油)を必ず使用してください。ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
 火災のおそれがあります。

⚠注意**不良灯油(変質灯油・不純灯油)を使用しない**

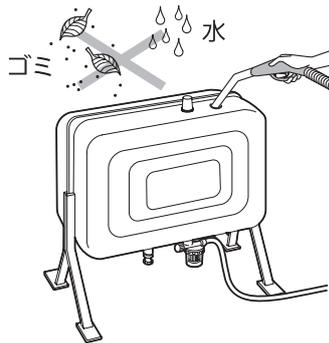
⊘ 変質灯油(日光の当たる場所や温度の高い場所で保管して変質した灯油)や、不純灯油(灯油以外の油・水・ゴミなどが混入した灯油)などの不良灯油は使用しないでください。機器の故障の原因になります。

(つづく)

給油

給油の際の注意

- 必ず運転スイッチを「切」にしてからおこなってください。
- 水やゴミなどが入らないよう、特に注意してください。
- 給油が終わった後、給油口のふたは確実に閉めてください。
- こぼれた灯油は、よくふき取ってください。



空気抜きの方法

オイルタンクを空にすると、送油配管内に空気が入り、次回使用するときに着火がスムーズにできなかったり、故障表示「110」「120」が出る場合があります。以下の手順で空気抜きをおこなってください。

1. 給油後、オイルタンクの送油バルブを開く。
2. 運転スイッチを「入」にする。
3. 給湯栓(お湯側)を開けて、お湯を出す。

手順2～3の操作中、送油配管内の空気が抜けるまで機器から振動音が出ますが、異常ではありません。

炎マーク・燃焼ランプが点灯し、お湯になれば正常です

【故障表示「110」「120」が出る場合】
いったん運転スイッチを「切」にして再度「入」にし、お湯を出す

5～6回くりかえしても、故障表示が出て着火しないときは

機器の不具合の可能性もあるため、販売店に連絡してください。

運転開始前の準備と確認

1. 機器のすべての水抜き栓、エアチャージ栓、排水栓、逃し弁を閉め、給水元栓を全開にする

- 水抜き栓・エアチャージ栓・排水栓・逃し弁の位置はP28、給水元栓の位置はP12をご覧ください。

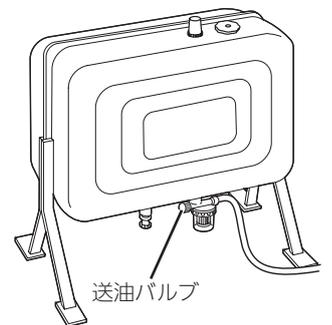
2. 給湯栓を開けて連続して水が出ることを確認し、再度閉める(断続的に出る場合は、連続して出るまで水を出しっぱなしにする)



- 水が出ることを確認せず運転スイッチを「入」にすると、貯湯槽が空だきの状態になる場合があります、故障の原因になります。

3. P11「ポンプの呼び水の方法」の方法1または方法2で、ポンプの呼び水をする

4. オイルタンクの送油バルブを全開にし、オイルタンクや送油管接合部などから油漏れがないか、確認する



5. 電源プラグを電源コンセントに差し込む
ぬれた手でさわらない

- 対震自動消火装置が自動的にセットされます。

6. 運転スイッチを「入」にする

7. 給湯温度を「7」に設定する

8. 浴槽の排水栓を閉める

9. 浴槽に水を入れる(循環アダプターの上部より約5cm以上)

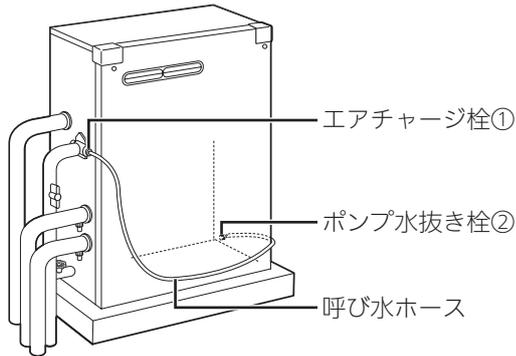


10. 追いだきスイッチを「入」にし、循環アダプターから熱いお湯が出ることを確認する

ポンプの呼び水の方法

方法1

1. 呼び水ホースをエアチャージ栓①とポンプ水抜き栓②に接続する



2. ②を開けた後、①を開けて、ポンプに水を入れる(約1～2分)

<エアチャージ栓①の開け方>

- 1) リングの切れ目を凸部に合うよう、水抜き栓を回す



- 2) 水抜き栓を押し込む

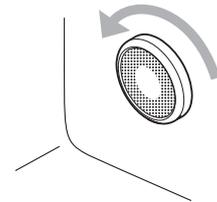


3. ①の水抜き栓をカチッと手応えがあるまで引き出し、リングの切目と凸部が合わないよう水抜き栓を回して閉める
4. ②を閉めて、呼び水ホースを外す
5. ②を開けて水が出てくることを確認し、②を閉める(容器などで水を受けてください)

方法2

1. 浴槽の循環アダプターのフィルターを左に回して外す

●循環アダプターの形状は、異なる場合があります。



2. 浴槽に水を入れる(循環アダプター上部より5cm以上)



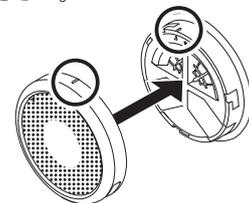
3. どちらかの穴にシャワーホースまたは水道ホースの先端を当て、水を入れる(このとき、ホースを当てた側の吹き出し口を指で押さえておく)

循環アダプター本体から空気が出なくなったら終了する

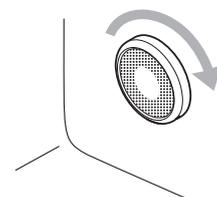


4. 線と線を合わせて※、はめ込む

※線がない循環アダプターの場合は、△と△を合わせてください。

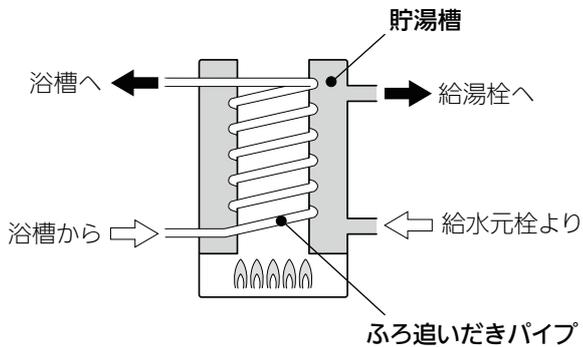


5. 右に止まるまで回して固定する



しくみ

熱交換器内のようなす



リモコンの炎マークや燃焼ランプが点灯したり消灯したりして、燃焼をくりかえすのは…

貯湯槽のお湯を設定した給湯温度に保つため、貯湯槽のお湯の温度が下がると自動的に燃焼し、適温になれば自動的に停止するためです。

ふろ運転(お風呂沸かし・追いだき)のしくみ

ふろ運転を開始すると、ふろ追いだきパイプ内に浴槽のお湯(水)が入り、貯湯槽のお湯の熱を利用して、パイプ内のお湯の温度を上げ、浴槽へ戻します。
※ふろ運転(ふろ保温スイッチ・追いだきスイッチ)は、貯湯槽の高温のお湯を利用するため、必ず給湯温度を「7」にしてください。

高温のお湯が出る場合があります

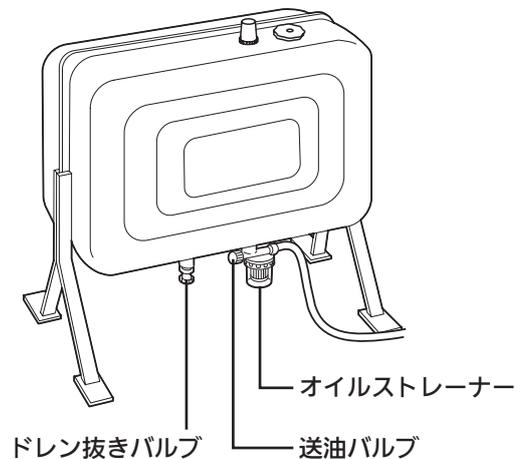
給湯温度を「6」「7」の高温で使用すると、貯湯槽のお湯も高温になります。
「6」「7」の高温で使用した直後に給湯温度を下げて、貯湯槽のお湯の温度はすぐに下がらず、しばらくは高温のお湯が出ます。(配管の長さにより異なります)
給湯温度「7」で運転するふろ運転中やふろ運転直後に、給湯温度を下げたり、リモコンの優先切替をして「7」から元の給湯温度に戻した場合などは、上記の理由でしばらくは高温のお湯が出ます。
やけどにご注意ください。

各部のなまえとはたらき (機器本体)

●イラストは施工例です。配管の形状、給水元栓・オイルタンク・電源コンセントの位置など実際と異なります。

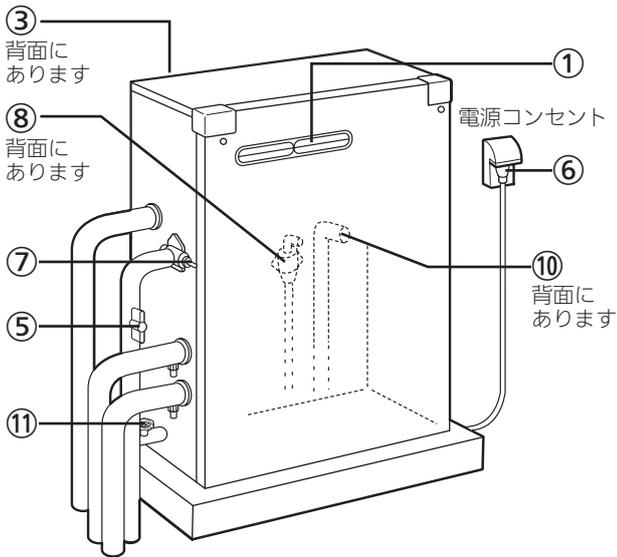
- ① 排気口
- ② 排気筒
燃焼した排気ガスを出します。
- ③ 給気口
- ④ 給気筒
燃焼用の空気を吸い込みます。
- ⑤ 給水元栓
- ⑥ 電源プラグ
- ⑦ エアチャージ栓
- ⑧ ホッパー
- ⑨ 本体操作部
この取扱説明書では「台所リモコン」として説明しています。
- ⑩ 同圧給水配管
- ⑪ 排水栓
- ⑫ 減圧弁
- ⑬ 逃し弁

オイルタンク

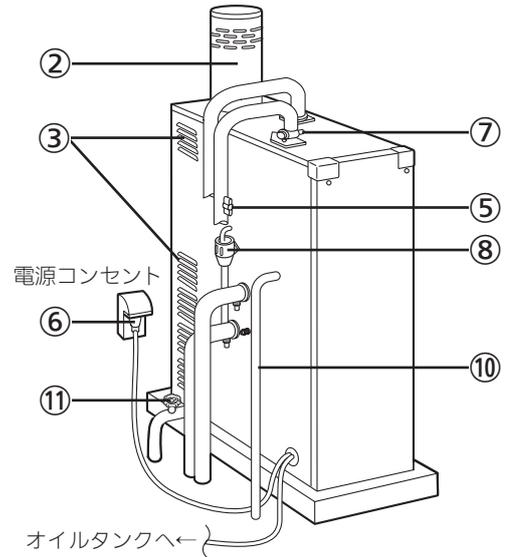


屋外設置形

OTX-4707YV, OTX-4707YSV, OTX-H4707YSV,
OTX-3707YV, OTX-3707YSV

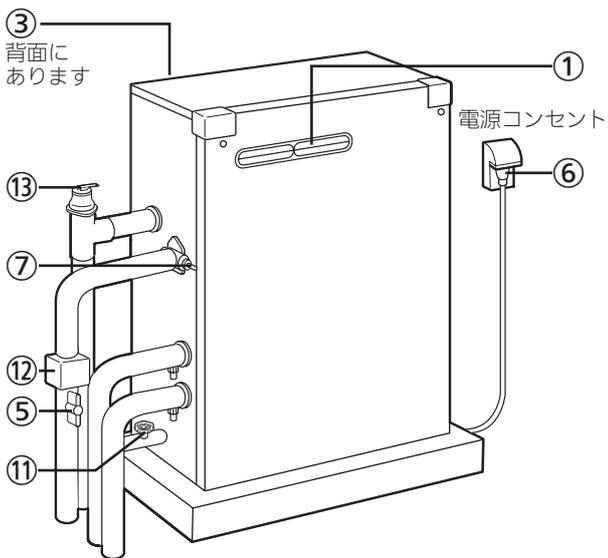


OTX-4717YV, OTX-4717YSV, OTX-H4717YSV,
OTX-3717YV, OTX-3717YSV

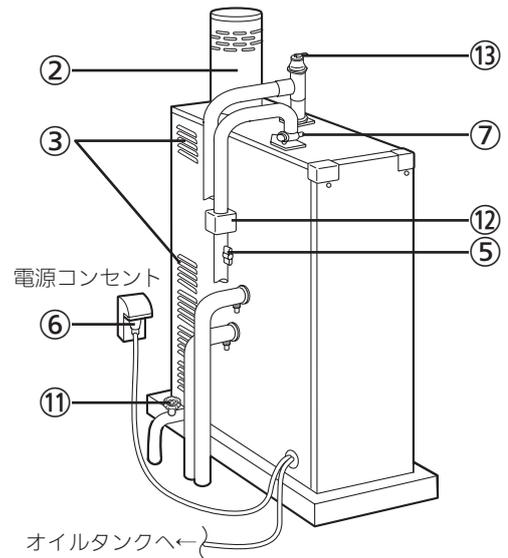


ご使用前に

OTX-3707Y, OTX-3707YS, OTX-3707YS-SLP



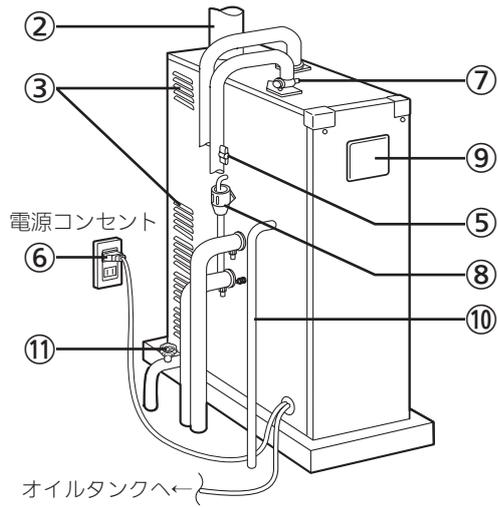
OTX-3717YS-SLP



(つづく)

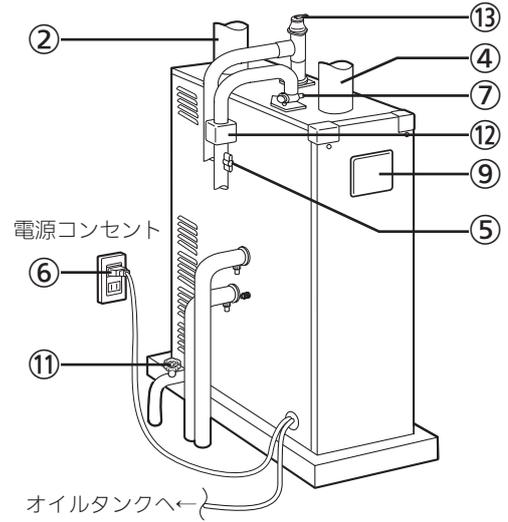
屋内設置・強制排気形

OTX-4707FV,OTX-H4707FV,OTX-3707FV

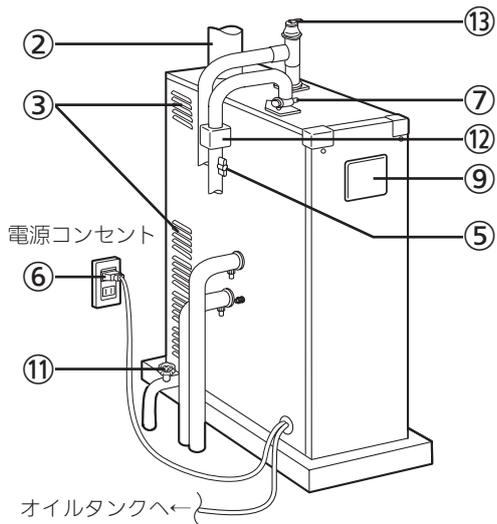


屋内設置・強制給排気形

OTX-4707FF,OTX-3707FF,OTX-3707FF-SLP

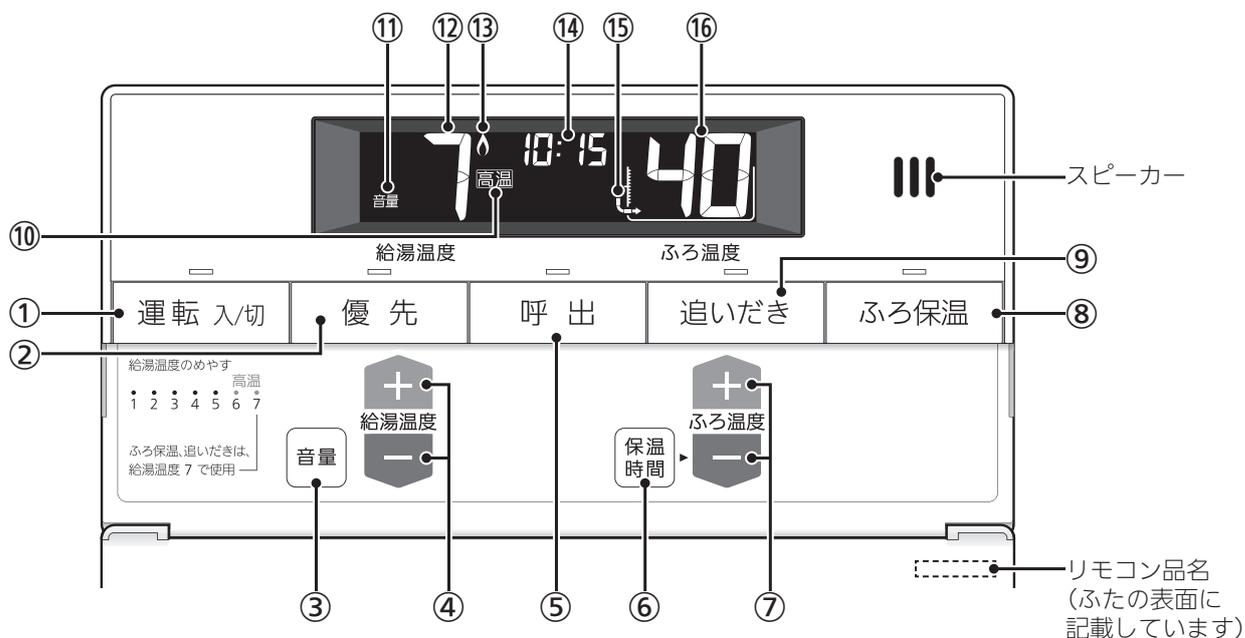


OTX-4707F,OTX-3707F,OTX-3707F-SLP



各部のなまえとはたらき(浴室リモコン)

- リモコン品名：RC-J113S
- スイッチを押すと操作音が鳴り、操作の内容を音声でお知らせします。
- ふたを開けた状態です。
- 下記の表示画面は説明用です。実際は、運転の状態によって表示が異なります。

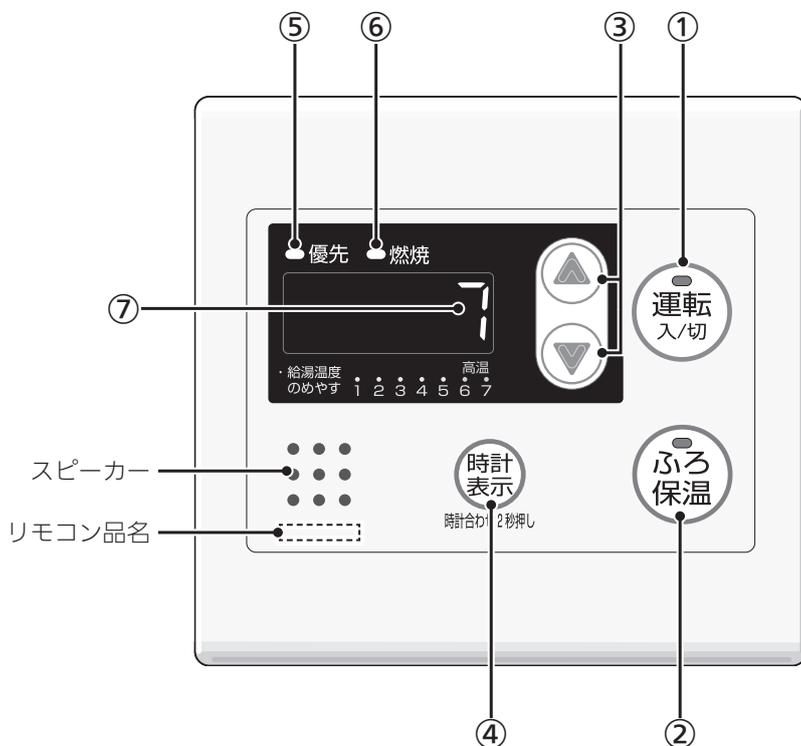


ご使用前に

- | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>① 運転スイッチ・ランプ
運転の「入」「切」に。</p> <p>② 優先スイッチ・ランプ
給湯温度を変更できないときに押してランプを点灯させると、変更できます。(P20)</p> <p>③ 音量スイッチ
リモコンの音量を変更するとき。(P23)</p> <p>④ 給湯温度スイッチ
・給湯やシャワーのお湯の温度の設定に。(P18)
・その他の設定を変更するとき。</p> <p>⑤ 呼出スイッチ・ランプ
台所を呼び出したいとき。(P24)</p> <p>⑥ 保温時間スイッチ
自動保温の時間を変更するとき。(P22)</p> <p>⑦ ふろ温度スイッチ
おふろの沸き上がり温度の設定に。(P21)</p> <p>⑧ ふろ保温スイッチ・ランプ
おふろを沸かす／沸かし直す／湯温を保つとき。(P21)</p> | <p>⑨ 追いだきスイッチ・ランプ
ぬるいおふろのお湯を沸かすとき。(P23)</p> <p>⑩ 高温表示
給湯温度を「6」「7」に設定したときに点灯。</p> <p>⑪ 音量表示
音量の表示中に点灯。(P23)</p> <p>⑫ 給湯温度表示
設定した給湯温度より貯湯槽のお湯の温度の方が約10℃以上高い場合、給湯温度表示の前に「H」の表示が出ます。</p> <p>⑬ 炎マーク</p> <p>⑭ 時計表示
故障表示
不具合が生じたときに点滅。(P37)</p> <p>⑮ 
追いだき中に動きます。(P23)</p> <p>⑯ ふろ温度表示</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

各部のなまえとはたらき(台所リモコン)

- リモコン品名 : RC-7613M-A
- スイッチを押すと操作音が鳴り、操作の内容を音声でお知らせします。
- 下記の表示画面は説明用です。実際は、運転の状態によって表示が異なります。



① 運転スイッチ・ランプ
運転の「入」「切」に。

② ふろ保温スイッチ・ランプ
お風呂を沸かす／沸かし直す／湯温を保つとき。(P21)

③ 設定スイッチ
・給湯やシャワーのお湯の温度の設定に。(P18)
・その他の設定を変更するとき。

④ 時計表示スイッチ
時計を合わせたり、表示させたりするとき。(P17)

⑤ 優先ランプ
点灯していれば、給湯温度が調節できます。

⑥ 燃焼ランプ

⑦ 給湯温度表示
設定した給湯温度より貯湯槽のお湯の温度の方が約10℃以上高い場合、給湯温度表示の前に「H」の表示が出ます。

ふろ温度表示
台所リモコンでふろ保温スイッチを押すと、ふろ温度が約10秒間点灯。

時計表示

故障表示
不具合が生じたときに点滅。(P37)

台所リモコンで時計を合わせる・時計を表示させる

- 運転スイッチ「入」「切」どちらでも設定できます。

時計を合わせる

手順（台所リモコンで操作します）

1. 時計表示スイッチを約2秒押す（「0：00」が点滅するまで）



2. 設定スイッチで時計を合わせる



- 1回押すごとに1分ずつ、長押しすると10分ずつ変わります。

3. 時計表示スイッチを押す



- 約30秒そのままにしても設定完了します。

時計を表示させる

手順（台所リモコンで操作します）

時計表示スイッチを押す

- もう一度押すと、時計表示が消えます。
- 時計表示中に、お湯を使用したり給湯温度を変更したりすると、時計表示は消えます。
- 「6」「7」の高温設定時や、給湯温度表示の前に「H」の表示が出ているときに、時計表示スイッチを押すと10秒間時計表示し、その後元の画面表示に戻ります。

お知らせ

- 停電のあとや電源プラグを抜いたあとも「0：00」（台所リモコン）または「-：-」（浴室リモコン）になります。時計を合わせてください。
- 時計は室温の変化によって多少ずれることがあります。
- 台所リモコンでは12時間表示、浴室リモコンでは24時間表示で表示します。

お湯の温度を調節してお湯を出す・お風呂のお湯はりをする

警告

シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する

やけど予防のため。

- ・「6」「7」の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。
- ・お湯の使いはじめは正常な温度でも、使用中に熱くなる場合があります。熱いお湯が出た場合は、すぐに使用を中止してください。なお、使用中にお湯が熱くなる状態が続く場合は機器故障の可能性がありますので、販売店または弊社窓口にご連絡ください。
- ・夏場などの水温が高いときやお湯の量を絞って使ったとき、設定温度より高い温度のお湯が出る場合は、湯量を増やしたり水を混ぜたりしてから湯温を確認して使用してください。



高温注意

給湯温度に関係なく、給湯栓から高温のお湯が出る場合があるため(P12)、注意する

やけど予防のため。

ふろ運転中やふろ運転直後に給湯温度を下げたり、リモコンの優先切替をして高温から低温に給湯温度を戻した場合などは、高温のお湯が貯湯槽に残っているため、しばらくは高温のお湯が出ます。



高温注意

浴槽の湯温を手で確認してから入浴する

やけど予防のため。



高温注意

シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチを「切」にしたり、「優先」を切り替えたりしない

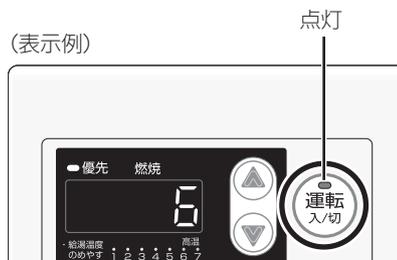
高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチを「切」にされたりすると、冷水になって使用者が驚く原因になります。



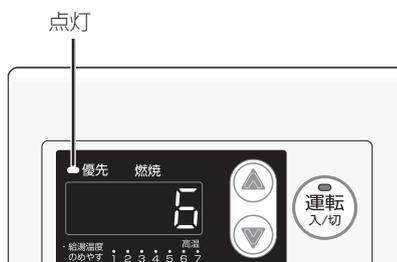
禁止

台所リモコン・浴室リモコンどちらでも操作できます
(台所リモコンでの手順例)

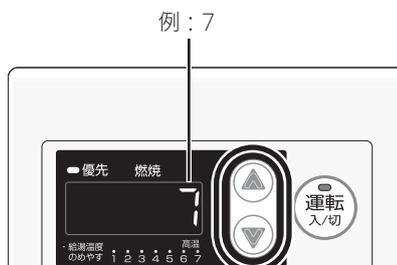
1. 運転スイッチを「入」にする



2. 優先ランプが点灯していることを確認する



3. 設定スイッチ(浴室リモコンではふたの中の給湯温度スイッチ)で、お湯の温度を調節する



- ふろ運転中は、給湯温度の調節はできません。
- 快適に使用していただくため、通常は「7」に設定し、お湯と水を混ぜて温度調節して使用することをおすすめします。
- 【浴室リモコンの場合】優先ランプが点灯していない場合は、給湯温度スイッチを押すと「ピピピ」と鳴って温度調節ができないことをお知らせします。(温度調節ができないとき→P20)

給湯温度表示の前に「H」の表示が出るときは

設定した給湯温度より貯湯槽のお湯の温度の方が約10℃以上高い場合(給湯温度を下げたときなど)に、「H」の表示が出ます。お湯の使用時には充分ご注意ください。

(表示例)



4. 給湯栓を開ける または シャワーを出す



- 表示の温度をよく確かめてから使用してください。「6」「7」の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。
- お湯の使用量や水を混ぜる量などにより、お湯の温度が変化することがあります。

お湯を止めたいとき(お風呂のお湯はりの場合、お湯がたまったとき)

給湯栓を閉める または シャワーを止める

- お出かけ、おやすみになるときなどは、運転スイッチを「切」にしてください。

■ お湯の温度(°C)の目安

7	熱い(約80°C)
6	↑ ↓
5	
4	
3	
2	
1	ぬるい(約25°C)

「6」「7」に設定すると、浴室リモコンでは高温表示、台所リモコンでは給湯温度表示が、約10秒間点滅→点灯

※初期設定(工場出荷時)＝「3」

- 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。

■ 給湯量と給湯温度の早見表

【製品名がOTX-47またはOTX-H47から始まる場合】

給湯温度	給湯量(L/分)		
	水温8°C [冬期]	水温18°C [春・秋期]	水温28°C [夏期]
40°C	約20.5	約30.0*	約30.0以上*
50°C	約15.5	約20.5	約30.0*
60°C	約12.5	約15.5	約20.5
80°C	約9.0	約10.5	約12.5

【製品名がOTX-37から始まる場合】

給湯温度	給湯量(L/分)		
	水温8°C [冬期]	水温18°C [春・秋期]	水温28°C [夏期]
40°C	約17.0	約24.5*	約24.5以上*
50°C	約13.0	約17.0	約24.5*
60°C	約10.5	約13.0	約17.0
80°C	約7.5	約8.5	約10.5

- ※は、湯と水を混合した値です。
- ここでの給湯量は、機器から出湯できる最大量を記載しています。(実際の給湯栓から出る最大量とは異なる場合があります)

使
い
か
た

お知らせ

- リモコンの炎マークや燃焼ランプが点灯したり消灯したりして燃焼をくりかえすのは、貯湯槽のお湯を設定した給湯温度に保つよう貯湯槽のお湯の温度が下がると自動的に燃焼し、適温になれば自動的に停止するためです。
- 運転スイッチを「入」にし、すぐに給湯栓を開けても、貯湯槽のお湯が充分にあたたまっていない場合は、設定した温度のお湯にならないことがあります。そのときは給湯栓をいったん閉めてしばらく待った後、使用してください。それでもお湯にならない場合は、灯油がなくなっていないか確認してください。

お湯の温度を調節できないときは <優先切替>

- 風呂運転中は、給湯温度の調節はできません。(優先ランプが消灯します)

警告

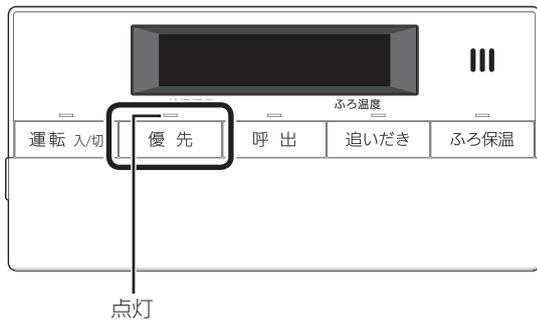
シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチを「切」にしたり、「優先」を切り替えたりしない

高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチを「切」にされたりすると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

禁止

浴室リモコンで温度調節ができないとき

優先スイッチを押す

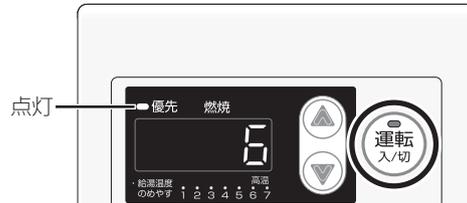


- 優先ランプが点灯すると、浴室リモコンで記憶していた給湯温度を表示し、お湯の温度が調節できます。
- 風呂運転開始後は、優先がないリモコンで記憶している給湯温度も「7」に変わります。
- 再度優先スイッチを押すと、台所リモコンに優先が切り替わります。

台所リモコンで温度調節ができないとき

運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にする

(表示例)



- 優先ランプが点灯すると、台所リモコンで記憶していた給湯温度を表示し、お湯の温度が調節できます。
- 風呂運転開始後は、優先がないリモコンで記憶している給湯温度も「7」に変わります。
- 運転が停止します。運転を停止させたくない場合は、浴室リモコンの優先スイッチで切り替えてください。

「優先」とは

台所、洗面所、シャワーなど、機器からお湯を供給しているところには、同じ温度のお湯が出ます。そのため、お湯を使っているときに他の人が給湯温度を変えてしまうと、出ているお湯の温度が変わり、使っている人がやけどをしたり、急に冷たくなって驚いたりする原因になります。このような事故などを防ぐために、リモコンが複数ある場合は1つのリモコンでしか給湯温度が変えられないようになっています。給湯温度を調節できることを「優先」と呼び、給湯温度を調節できるリモコンには優先ランプが点灯します。

- 運転スイッチを「入」にしたリモコンが優先になります。
- 浴室リモコンの優先スイッチで、リモコンの優先を切り替えることができます。

ぬるいお風呂のお湯を沸かす<追いだき>

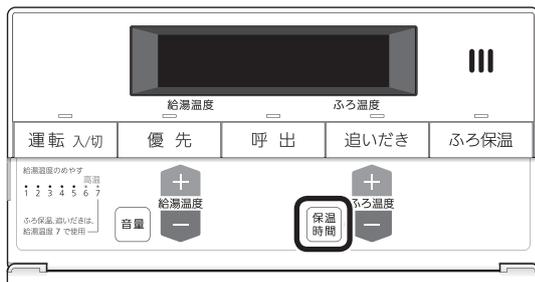
お風呂沸かしをやめたいとき
沸き上がり後、自動保温の必要がないとき
ふろ保温スイッチを「切」にする
《ふろ保温ランプ消灯》

自動保温の時間を変更する

- 運転スイッチ「入」「切」どちらでも変更できます。
- ふろ保温スイッチ「入」中は変更できません。
- 台所リモコンで変更することもできます。(P24)

浴室リモコンでの手順

1. ふたの中の保温時間スイッチを押す



2. ふろ温度スイッチで変更する

(表示例)



保温時間 点滅

設定範囲(h=時間)
oF: 自動保温をしません。
1h~9h(1h刻み): 1~9時間

3. 保温時間スイッチを押す

- 約10秒そのままにしても設定完了します。

- 設定したふろ温度まで追いだきができます。

警告

給湯温度に関係なく、給湯栓から高温のお湯が出る場合があるため(P12)、注意する

やけど予防のため。

ふろ運転中やふろ運転直後に給湯温度を下げたり、リモコンの優先切替をして高温から低温に給湯温度を戻した場合などは、高温のお湯が貯湯槽に残っているため、しばらくは高温のお湯が出ます。



高温注意

準備

循環アダプターの上までお湯(水)があることを確認する



手順 (浴室リモコンで操作します)

1. 運転スイッチを「入」にする

《運転ランプ点灯》

2. 給湯温度が「7」になっていることを確認する

(表示例)



確認

- 「7」以外の場合は、給湯温度スイッチで給湯温度を「7」にしてください。
- 給湯温度が最高になっているため、台所やシャワーなどのお湯が高温になります。ご注意ください。

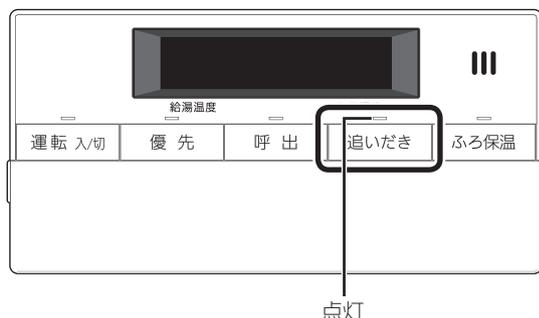
お知らせ

- ふろ自動運転中、循環アダプター付近にお湯がたまってきたときに、循環アダプターから音が出る場合があります。これは空気を吸い込む音であり、故障ではありません。
- 入浴剤を使用するときの注意については、P5をご覧ください。

リモコンの音量を変更する

<音量>

3. 追いだきスイッチを「入」にする



- 給湯温度が「7」以外のときは、追いだきを開始する前に給湯温度表示が点滅します。給湯温度スイッチ「+」を押してください。(自動的に「7」になり、追いだきを開始します)

■ 追いだき 開始



- 追いだき開始後は、優先がないリモコンで記憶している温度も「7」に変わります。

■ 追いだき完了

《 追いだきランプ消灯 》

- 設定したふろ温度まで追いだきしますが、そのあとは1回押すと1℃上がり、くりかえし押すと約50℃まで追いだきします。やけどに注意してください。

追いだきを途中でやめたいとき

追いだきスイッチを「切」にする

《 追いだきランプ消灯 》

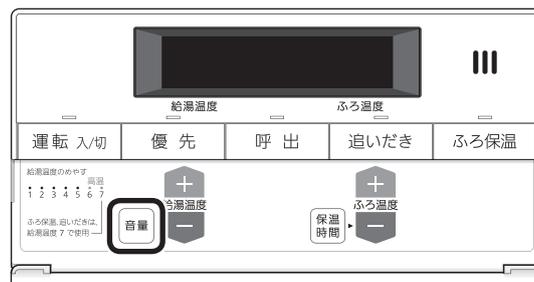
- リモコンの以下の音量が変わります。
 - ・ スイッチを押したときに鳴る音 (操作音)
 - ・ 音声ガイド (声によるお知らせ)
 - ・ 呼出スイッチによる呼び出し音
 - ・ メロディ
- 運転スイッチ「入」「切」どちらでも変更できます。
- 変更したリモコンのみ音量が変わります。

台所リモコンでの手順

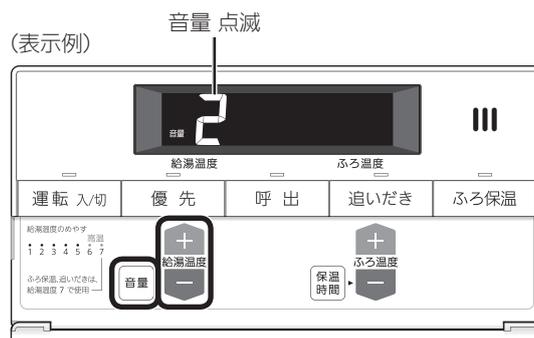
- P25で説明しています。

浴室リモコンでの手順

1. ふたの中の音量スイッチを押す



2. 音量スイッチ または 給湯温度スイッチで音量を変更する



設定範囲

0 (消音)、1 (小)、2 (中)、3 (大)

- 約10秒そのままにすると、元の画面に戻ります。
- リモコンの音量「0」の設定でも、呼び出し音 (P24「浴室から台所を呼び出す<呼出>」) は鳴ります。

お知らせ

- 「音声ガイド (声によるお知らせ)」を消したいとき → P25

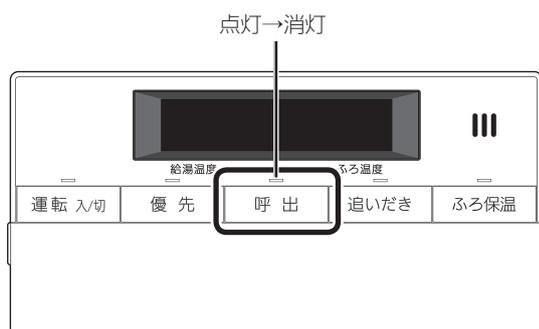
使
い
か
た

浴室から台所を呼び出す ＜呼出＞

- 浴室から台所を呼び出すことができます。(インターホンではないので会話はできません)
- 運転スイッチ「入」「切」どちらでも呼び出しできます。

手順（浴室リモコンで操作します）

1. 呼出スイッチを押す



- 呼び出し音が鳴ります。
- 押し続けると、手を離すまで呼び出し音をくりかえします。

お知らせ

- リモコンの音量「0」(P23,25)でも、呼び出し音は鳴ります。

使い勝手にあわせて設定 を変更する

自動保温の時間を変更する 自動保温をしないようにする

台所リモコンでの手順

- ① 運転スイッチを「切」にする
- ② ふろ保温スイッチを約2秒長押しする(ピッと鳴るまで)
- ③ ふろ保温スイッチで設定モード「0」にする



- ④ 設定スイッチ▲▼で変更する



設定範囲(時間)
0(自動保温をしない)、1~9

初期設定：4

- ⑤ 運転スイッチを「入」にする

- 約30秒そのままにしても設定完了します。

浴室リモコンでの手順

- ① 運転スイッチを「切」にする
- ② ふろ保温スイッチを約2秒長押しする(ピッと鳴るまで)
- ③ 給湯温度スイッチ「+」「-」で設定モード「4」にする



- ④ ふろ保温スイッチを押す
- ⑤ 給湯温度スイッチ「+」「-」で変更する



設定範囲(時間)
0(自動保温をしない)、1~9

初期設定：4

- ⑥ 運転スイッチを「入」にする

- 約60秒そのままにしても設定完了します。

リモコンの音量を変更する

- 設定したリモコンのみ変更されます。

台所リモコンでの手順

- ① 運転スイッチを「切」にする
- ② ふろ保温スイッチを約2秒長押しする(ピッと鳴るまで)
- ③ ふろ保温スイッチで設定モード「1」にする



- ④ 設定スイッチ▲▼で変更する



設定範囲
0(消音)、1(小)、2(中)、3(大)
初期設定：2(中)

- ⑤ 運転スイッチを「入」にする
 - 約30秒そのままにしても設定完了します。

浴室リモコンでの手順

- P23「リモコンの音量を変更する<音量>」で説明していますが、下記の方法でもできます。

- ① 運転スイッチを「切」にする
- ② ふろ保温スイッチを約2秒長押しする(ピッと鳴るまで)
- ③ 給湯温度スイッチ「+」「-」で設定モード「8」にする



- ④ ふろ保温スイッチを押す
- ⑤ 給湯温度スイッチ「+」「-」で変更する



設定範囲
0(消音)、1(小)、2(中)、3(大)
初期設定：2(中)

- ⑥ 運転スイッチを「入」にする
 - 約60秒そのままにしても設定完了します。

声によるお知らせ(音声ガイド)を消す(鳴らす)

- 設定したリモコンのみ変更されます。
- oF(鳴らない)にしても、やけど予防のため、「熱いお湯が出ます」はお知らせします。

台所リモコンでの手順

- ① 運転スイッチを「切」にする
- ② ふろ保温スイッチを約2秒長押しする(ピッと鳴るまで)
- ③ ふろ保温スイッチで設定モード「2」にする



- ④ 設定スイッチ▲▼で変更する



on：鳴る
oF：鳴らない
初期設定：on(鳴る)

- ⑤ 運転スイッチを「入」にする
 - 約30秒そのままにしても設定完了します。

浴室リモコンでの手順

- ① 運転スイッチを「切」にする
- ② ふろ保温スイッチを約2秒長押しする(ピッと鳴るまで)
- ③ 給湯温度スイッチ「+」「-」で設定モード「1」にする



- ④ ふろ保温スイッチを押す
- ⑤ 給湯温度スイッチ「+」「-」で変更する



on：鳴る
oF：鳴らない
初期設定：on(鳴る)

- ⑥ 運転スイッチを「入」にする
 - 約60秒そのままにしても設定完了します。

機器の水抜きをする

- この設定だけでは機器の水抜きはできません。必ずP28をご覧ください。

台所リモコンでの手順

- ① 運転スイッチを「切」にする
- ② ふろ保温スイッチを約2秒長押しする(ピッと鳴るまで)
- ③ ふろ保温スイッチで設定モード「5」にする



- ④ ふろ保温スイッチを押す
- ⑤ 設定スイッチ▲を押す



- 表示がonになり、すぐに機器の水抜きを開始します。
- ※機器の水抜き中にofを選択すると、機器の水抜きを中止します。

浴室リモコンでの手順

- ① 運転スイッチを「切」にする
- ② ふろ保温スイッチを約2秒長押しする(ピッと鳴るまで)
- ③ 給湯温度スイッチ「+」「-」で設定モード「18」にする



- ④ ふろ保温スイッチを押す
- ⑤ 給湯温度スイッチ「+」を押す



- 表示がonになり、すぐに機器の水抜きを開始します。
- ※機器の水抜き中にofを選択すると、機器の水抜きを中止します。

呼出音の種類を変更する

- 浴室リモコンのみ変更できます。

手順(浴室リモコンで操作します)

- ① 運転スイッチを「切」にする
- ② ふろ保温スイッチを約2秒長押しする(ピッと鳴るまで)
- ③ 給湯温度スイッチ「+」「-」で設定モード「27」にする



- ④ ふろ保温スイッチを押す
- ⑤ 給湯温度スイッチ「+」「-」で変更する



- | |
|-----------|
| 1: 呼び出し音1 |
| 2: 呼び出し音2 |

初期設定: 1(呼び出し音1)

- ⑥ 運転スイッチを「入」にする

- 約60秒そのままにしても設定完了します。

凍結による破損を予防する

- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して機器が破損することがあります。破損事故を予防するために、以下をお読みいただいで必要な対策をしてください。
- 凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

対策1

通常の寒さのとき

気温が下がってきたら自動検知。凍結予防ヒーター + 浴槽水の循環で凍結予防する方法。

※配管や給水元栓などは予防できません。必ず保温カバーや電気ヒーターで予防してください。(わからないときは、販売店に確認してください)

こうしてください

- 浴槽の循環アダプターの上まで、水か湯を残す
 - リモコンの運転スイッチの「入」「切」に関係なく、自動的に凍結予防します。(ポンプ運転はしますが燃焼はしません)
 - ポンプが回ると「ウン」と音がします。
 - 浴槽に水(お湯)がないとポンプが空運転し、大きな音がします。
- 電源プラグは差したまま(ブレーカーも「切」にしない)
 - ※電源を切ると凍結予防ヒーターが作動しません。

対策2

- 低温注意報が発表されたとき
- 外気温が極端に低いとき(-15℃以下)
- -15℃より高くても風があるとき

おふろの給湯栓から水を流し続ける方法。

こうしてください

- ①リモコンの運転スイッチを「切」にする
- ②送油バルブを閉める。
- ③おふろの給湯栓から水を流したままにする
 - 約30分後に、流れる量を確認する。
 - サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は、最高温度側にしてください。(次に使うとき、忘れずに戻してください)
 - 結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態でも給湯栓から水を出さないようお願いしていますが(P5)、凍結予防の処置の場合は問題ありません。



- 対策1も併せておこなう

機器の水抜き

- 対策1と2をしても凍結するおそれのあるとき
- 長期間使用しないとき



大寒波が到来しそうなときや、長期間使用しないときは、機器の水抜きをお願いします。

水抜きの方法は P28の手順でおこなってください

凍結したまま使うと故障の原因に!

凍結して、お湯や水が出なくなったら

- まずリモコンの運転スイッチを「切」にしてください。(「切」にしないと燃焼する場合があります)
 - 気温が上がって自然に解凍するまで待つことをおすすめします。水が出るようになったら、水漏れがないか確認します。

- すぐに使いたいときは、
 - ①リモコンの運転スイッチを「切」にする
 - ②台所などの給湯栓を少し開ける
 - ③給水元栓が回るかどうか確認する

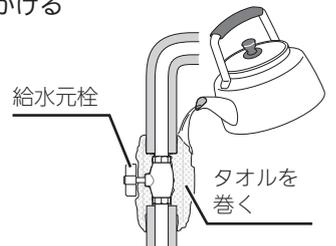
給水元栓は回るのに水が出ないときは

給水元栓以外の場所が凍っています。給水元栓を閉め、自然解凍を待つか、販売店または弊社窓口にご連絡ください。

給水元栓が凍結して回せないときは

タオルなどの布を給水元栓のまわりに巻き、30℃~40℃程度のぬるま湯をゆっくりかける

- 必要に応じて、床面などがぬれないように処置をしてください。
- 熱湯をじかにかけると配管が破裂するおそれがあります。また、配管以外(電源プラグやコード、電源コンセント)にお湯がかからないように注意してください。



給水元栓が回るようになれば解凍できたので、台所などの給湯栓を閉めてください。

- タオルを外し、給水元栓のまわりについた水を乾いた布でふき取ってください。また、機器や配管から水漏れがないかよく確認してから使用してください。
- 今後凍結しないように、給水元栓まわりに保温材を巻くなどの処置をご検討ください。(わからないときは、販売店にご確認ください)

長期間使用しないとき(水抜きのしかた)

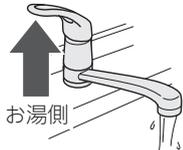
⚠️注意

機器の水抜きをする場合、運転スイッチを「切」にする
 やけど予防のため。運転スイッチ「切」後も、しばらくは貯湯槽のお湯が熱くなっているため、必ず**必ず** 気をつけて作業してください。

準備

水抜き栓などからお湯(水)が約14L出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください

手順

1. 運転スイッチを「切」にする
2. 浴槽内の水を完全に排水する
3. 送油バルブと給水元栓を閉める
(送油バルブと給水元栓の位置→P12)
4. 家中のすべての給湯栓を全開にする

5. 排水栓①を開け、エアチャージ栓②を外す
【製品名に「V」を含まない場合】
 逃し弁③も開ける
6. ①P26の方法で、「機器の水抜き」(台所リモコン：設定モード「5」、浴室リモコン：設定モード「18」)を「on」にする
 ※操作後1~2分たつと、リモコンで「ピピッ」とお知らせ音が鳴ります。
 ②浴槽の循環アダプターから排水することを確認する

- このあと、浴槽に水を流し込まない。
- 水抜きの途中で電源プラグを抜いたりブレーカーを「切」にしたりしない。
- 排水が始まったあとに水抜きを中止する場合は、P26の方法で、「機器の水抜き」(台所リモコン：設定モード「5」、浴室リモコン：設定モード「18」)を「off」にする。

7. 機器の電源プラグを抜く

ぬれた手でさわらない

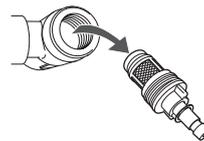
8. 水抜き栓④(3か所)を開け、水が出ることを確認する

9. すべての水抜き栓などから水が出なくなったことを確認したら、すべての水抜き栓・エアチャージ栓・排水栓・逃し弁・家中のすべての給湯栓を閉める

水抜き栓の位置

各水抜き栓は、保温材などで見えにくいことがあります。

エアチャージ栓②



※製品によって、フィルターが付いていない場合があります。

逃し弁③

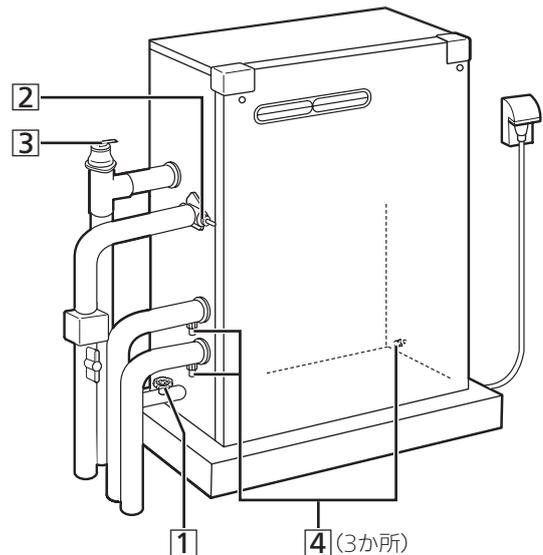


つまみを止まる位置まで上げる

水抜き栓④



【OTX-(H)4707Yシリーズ, OTX-3707Yシリーズ】



(例：OTX-3707Y)

※OTX-4707YV, (H)4707YSV, 3707YV, 3707YSVには、③はありません。

日常の点検・お手入れのしかた

- 点検・お手入れは定期的におこなってください。

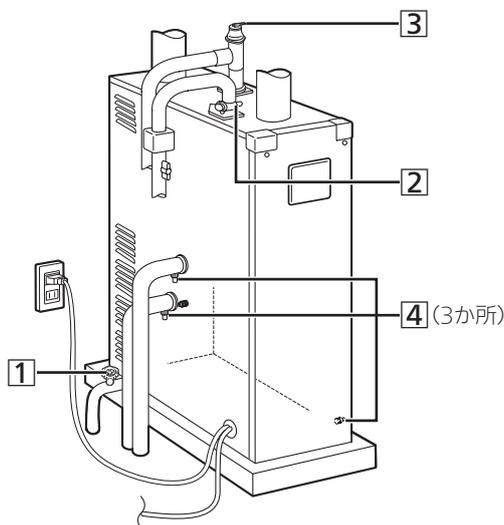
⚠️注意



機器の点検・お手入れをする場合、運転スイッチを「切」にする

必ず守る やけど予防のため。運転スイッチ「切」後も、しばらくは貯湯槽のお湯が熱くなっているため、気をつけて作業してください。

【OTX-(H)4707Fシリーズ, OTX-(H)4717シリーズ, OTX-3707Fシリーズ, OTX-3717シリーズ】



(例：OTX-4707FF)

※OTX-4717YV, (H)4717YSV, (H)4707FV, 3717YV, 3717YSV, 3707FVには、③はありません。

※P30のイラストを参照してください。

点検

【排気方向を上方へ変更するカバーを取り付けている場合】
カバーに雪が積もっていないか？ →①

積もっている場合は、除雪する。

点検

排気口・給気口・(給)排気筒トップがホコリなどでふさがっていないか？ →①②③

ふさがっている場合は、掃除する。

点検

機器外装に異常な変色はないか？ →④

現象があった場合は、販売店または弊社窓口にご連絡する。

点検

- 機器から異常音が聞こえないか？ →④
- 機器・配管から水漏れはないか？ →⑤

現象があった場合は、「故障・異常かな？と思ったら」の「機器全般」(P35)を確認する。それでもなおおかしいときは、販売店または弊社窓口にご連絡する。

点検

機器や排気口・(給)排気筒トップのまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか？

燃えやすいものを置かない。

点検

オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないか？ →⑥

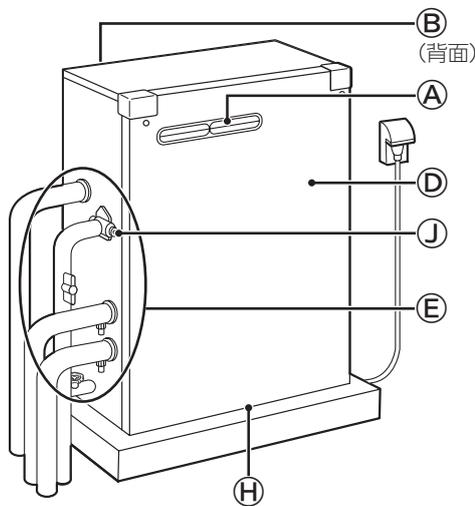
油漏れがあった場合は、運転スイッチを「切」にし、オイルタンクの送油バルブを閉めてから、販売店または弊社窓口にご連絡する。

水抜き後の再使用のとき

P10の「運転開始前の準備と確認」に従って、使用してください。

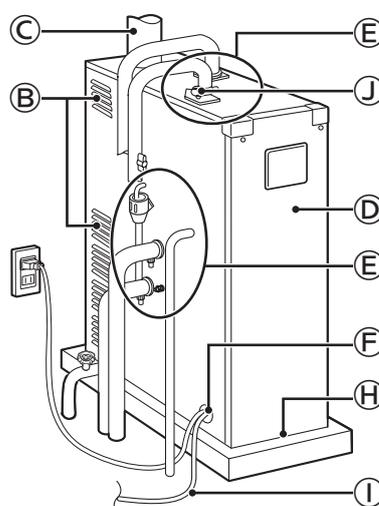
(つづく)

【屋外設置形】



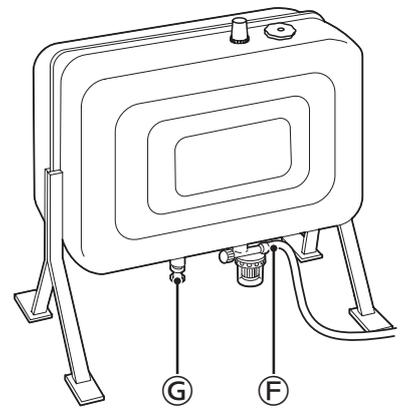
(例：OTX-4707YV)

【屋内設置形】



(例：OTX-4707FV)

【オイルタンク】



点検

オイルタンクのドレン抜きバルブから油漏れがないか？

→⑥

【油漏れがあった場合】

- ①オイルタンク下部のドレン抜きバルブの下に、灯油を受ける容器を置く。
- ②ドレン抜きバルブを開け、約10~20mL排水する。
- ③しっかりとドレン抜きバルブを閉める。(出た灯油にゴミや異物が混じていなければ、灯油をオイルタンクへ戻してください)

※しばらく様子を見て、それでも漏れるようであれば、販売店または弊社窓口にご連絡ください。

点検

機器外装の下部周辺などにサビや穴開きはないか？

→⑧

現象があった場合は、販売店または弊社窓口にご連絡する。

※海に近く潮風が当たりやすい地域の場合、潮風によって、機器本体および配管接続部にサビが発生する場合があります。サビがひどい場合は、機器本体内部への影響も考えられますので、点検(有料)をおすすめします。

点検

【屋内設置形の場合】

ゴム製送油管にひび割れや亀裂がないか？ →①
(ひび割れや亀裂が見た目上ないときは、ゴム製送油管を少し曲げて確認する)

ひび割れや亀裂があった場合は、販売店または弊社窓口にご交換を依頼する。(ゴム製送油管は時間とともに劣化するため、3年に1回は交換してください)

点検

【屋内設置形の場合】

排気筒や給排気筒(管・ホース)が正しく接続されているか、または穴があいていないか？ →③

現象があった場合は、販売店または弊社窓口にご連絡する。

点検

【屋内設置・強制排気形の場合】

建物の給気口が、ホコリ・ゴミなどでふさがっていないか？

ふさがっている場合は、掃除する。

お手入れ 外装の汚れ →⑩

ぬれた布で落としたあと充分水気をふき取ってください。特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

お手入れ リモコン

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布で軽くふいてください。

お手入れ お風呂の配管

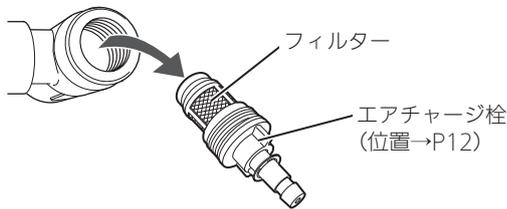
ポンプで浴槽の水を循環させるため、湯アカはたまりにくくなっていますが、雑菌などが気になる場合は市販のふろがま洗剤をお試しください。(ふろがま洗剤の説明書に従って正しく洗浄してください)

お手入れ 【製品名に「V」を含む場合】
エアチャージ栓のフィルター →④

フィルターにゴミなどが詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除してください。

※貯湯槽のお湯が高温になっていますので、気を付けて作業してください。

- ①水抜き栓から出る水(お湯)を受ける容器を準備する。
- ②機器の給水元栓(P12)を閉める。
- ③台所・洗面所など、すべての給湯栓を開ける。
- ④エアチャージ栓を左に回して外す。
※このとき水(お湯)が出るので注意してください。



- ⑤フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。
- ⑥元どおりにエアチャージ栓を取り付ける。
- ⑦すべての給湯栓を閉める。
- ⑧給水元栓を開け、エアチャージ栓の周囲に水漏れがないことを確認する。

お手入れ オイルタンク →⑥

オイルタンクに水が混じると、オイルタンク内部のサビ発生や不完全燃焼の原因になるため、定期的に水抜きをしてください。

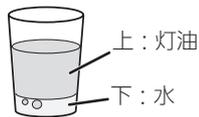
- ①オイルタンク下部のドレン抜きバルブの下に、灯油を受ける口の広い透明の容器を置く。



- ②ドレン抜きバルブをゆっくり開け、約200mL排水する。

- ③容器にたまった液体が分離していれば、灯油に水が混じっているので一度容器を空にし、再度約200mL排水する。これを、分離しなくなるまでくりかえす。

<分離している状態>



※分離していなければ、水は混ざっていません。

- ④水抜きが完了したら、ドレン抜きバルブを閉める。出た灯油にゴミ・異物が混ざっていなければ、灯油をオイルタンクへ戻す。

お手入れ 浴槽の循環アダプターのフィルター

フィルターが詰まると、お風呂の温度がご希望の温度にならないおそれがありますので、以下の方法で必ずこまめに掃除してください。

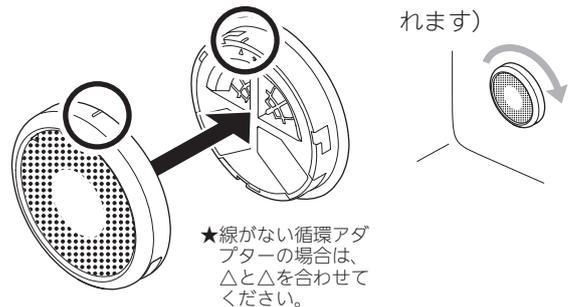
※フィルターは必ず正常に取り付けて使用してください。外したままや、正常に取り付けられていない状態で使用すると、機器が故障することがあります。
※循環アダプターの形状は、異なる場合があります。

- ①運転スイッチ「入」にし、追だきスイッチ「入」にする。
※このとき熱いお湯が出るので注意してください。
- ②循環アダプターからお湯が出なくなったことを確認後、運転スイッチ「切」にする。
※お手入れ前に必ず運転スイッチを「切」にしてください。「入」の状態でお手入れをしているときにお湯を使用すると、循環アダプターより熱いお湯が出たり、まわりが高温になる場合があります。(やけど予防のため)

- ③循環アダプターのフィルターを左に回して外す
- ④歯ブラシなどで掃除する
- ⑤フィルターの受け側の溝や穴を、歯ブラシなどで掃除する



- ⑥線と線に合わせて★フィルターをはめる
- ⑦右に回す(カチッと音がして固定されます)



お手入れ オイルストレーナー

オイルストレーナー(機器内・オイルタンク)にゴミや水がたまるので、定期的に販売店に点検を依頼してください。

必要なとき

定期点検(有料)

長期間ご使用になると、機器の点検が必要です。
機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度点検を受けることをおすすめします。

なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては、日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4~6年に1回程度をおすすめします。

点検は販売店または修理資格者[日本石油燃焼機器保守協会(TEL 03-3499-2928)でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など]のいる店などにご相談ください。

部品交換のしかた

部品の交換は必ず純正部品を使用してください。また故障やおわかりにならないことがありましたら販売店に相談していただき、修理資格者[日本石油燃焼機器保守協会(TEL 03-3499-2928)でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など]の修理をお受けください。

<使用方法などによっては、故障する可能性のある部品>

不良灯油(変質灯油・不純灯油)・水が混入した灯油の使用により、故障する可能性のある部品	電磁ポンプ、ノズル、オイルストレーナー
水の析出物により、故障する可能性のある部品	減圧弁、安全弁、注湯用電磁弁、混合弁

法定点検について

お買い上げいただいた製品は、消費生活用製品安全法(消安法)の長期使用製品安全点検制度で指定された特定保守製品です。

特定保守製品とは

「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化(経年劣化)により安全上支障が生じ、一般消費者の生命又は身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等からみてその適切な保守を促進することが適当なもの(消安法第2条第4項)」として指定された製品です。

法定の点検期間になったら点検を受けてください

- 特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、設計標準使用期間に基づいて製品ごとに設定された点検期間中に点検を受けることが、製品の所有者の責務として求められています(消安法第32条の14)。本製品に表示している点検期間になりましたら、必ず点検を受けてください。(点検は有料です)
- なお、法定点検の後もご使用を継続する場合には、こまめに点検を受けることが本製品を安全にお使いいただくために必要となりますので、ご注意ください。
- 法定点検は、その時点で点検基準に適合しているかどうかの確認であって、その後の安全を担保するものではありません。

法定の所有者登録をしてください

- 特定保守製品の所有者は、この製品の製造(輸入)事業者が法定の所有者登録をすることが求められています(消安法第32条の8第1項)。製品に同梱している「所有者票」に記載している《所有者登録の方法》に従って、ご登録をお願いします。
- ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

登録していただいた所有者情報に変更がありましたらご連絡ください

- 所有者情報に変更があった場合、この製品の製造(輸入)事業者に変更の連絡をすることが求められています(消安法第32条の8第2項)。引越など所有者情報に変更がありましたら、速やかに「所有者票」に記載している《所有者登録の方法》に掲げる問合せ連絡先にご連絡ください。ご連絡いただかない場合、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせが正しく届かないことがあります。

法定の点検通知をいたします

- 法定の所有者登録をしていただいた方に、登録情報に基づいて点検期間の開始前に法定の点検通知をいたします(消安法第32条の12)。
- 点検期間については、製品本体の表示、もしくは製品に同梱している「所有者票(お客さま控え)」をご覧ください。

【本製品の設計標準使用期間について】

本製品は、設計標準使用期間※を10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

※設計標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理がおこなわれた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです(消安法第32条の3)。

「無料修理保証期間」とは異なるのでご注意ください。
(無料修理保証期間は無料修理保証書を参照願います)

<設計標準使用期間の算定の根拠>

本製品の設計標準使用期間は、次のように設定しています。

- 1) 始期・・・製造年月
- 2) 終期・・・JIS S 2071・JIS S 2072の「標準使用条件」に基づいて想定した次の使用条件にて、当社において耐久試験等をおこない、その結果算出された数値等に基づいて、「経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないこと」を確認した時期

■使用条件(給湯)

項目	条件
家族構成	4人世帯
用途	台所・洗面・シャワー・湯はり
季節	中間期(春・秋)
気温・湿度	20℃・65%
給水温度	15℃
出湯温度	40℃
1日使用量	456リットル
1日使用时间	1時間
1年使用日数	365日

■使用条件(ふろ)

項目	条件
家族構成	4人世帯
用途	ふろの沸き上げ・追いだき
季節	中間期(春・秋)
気温・湿度	20℃・65%
給水温度	15℃
沸き上がり温度	40℃
入浴回数	毎日
沸き上がり回数	1回/1日
追いだき回数	3回/1日
浴槽水量	180リットル

※「使用条件」は、弊社における代表的な製品の条件を記載しています。製品によっては使用条件が異なります。

<ご注意ください>

使用頻度・使用環境・設置場所が標準的な使用条件と異なる場合、または、業務用等、本来の目的以外の方法で使用された場合は、本体に記載の設計標準使用期間よりも短い期間で経年劣化が起きる可能性があります。これに該当するような場合は、弊社窓口にご連絡ください。

点検について

法定点検は、ノーリツまたはノーリツが委託した事業者が行います。

【点検お知らせ機能】搭載について

一般的な使用で10年相当使用すると、点検時期になったことをお知らせします。(P37「888」)

【点検の内容について】

- 特定保守製品について、点検期間中に点検基準に従って実施する有料の法定点検です。
- 点検基準は消安法省令に定められており、製品区分ごとに点検項目・点検内容が定められています。
- 点検の結果は、点検結果表にてお知らせします。
- 点検の結果、不適合となった場合には可能な限りの選択肢をお知らせします。この場合、整備(修理を含む)をおこなって使用を継続するかどうかはお客さまの判断となります。

【点検の料金について】

点検料金は、お客さまにご負担いただきます。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途整備費用(有料)が発生いたします。

点検料金は技術料、出張料などを合計した金額となります。

なお、点検料金の設定の基準等や、点検要請に対して速やかに対応できるように全国に配置しておりますサポート拠点については、下記のアドレスからご覧いただけます。

<https://www.noritz.co.jp/aftersupport/hosyu/index.html>

インターネットでご確認できない場合は、弊社窓口にご連絡ください。

(つづく)

故障・異常かな？と思ったら

【本製品の点検の結果必要となると見込まれる整備用部品の保有期間】

整備用部品とは、法定点検の結果、不備が認められた場合に、安全性を確保(回復)させるために必要な部品であり、補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)とは異なります。

- (1) 点火・消火装置に関する部品：製造打切後11年
点火プラグ・イグナイター・フォトリダイオード
 - (2) 水・湯・燃料通路に関する部品：製造打切後11年
サーミスター・パッキン・Oリング
 - (3) 安全装置に関する部品：製造打切後11年
感震器・ハイリミットスイッチ・温度ヒューズ
- ※補修用性能部品の保有期間は「アフターサービス」の項をご覧ください。

【本製品の日常におこなうべき点検・お手入れ】

P29～31に従って、おこなってください。

【任意の定期点検について】

P32をご覧ください。

絵表示の説明

- ❓ こんなときは(状況)
 - こんなことが考えられます(原因)
 - ➔ こうしてください(処置)

お湯・シャワー

❓ 給湯栓を開いてもお湯が出てこない、お湯にならない

- リモコンに3桁の英数字が点滅していないか確認する。
➔点滅していれば、P37を確認し、必要な処置をする。
- オイルタンクの送油バルブ・給水元栓が全開になっていない。
➔送油バルブ・給水元栓を全開にする。
- 断水している。
➔復旧を待つ。
- 給湯栓が充分開いていない。
➔給湯栓を充分に開ける。
- エアチャージ栓のフィルターにゴミなどが詰まっている。
➔P31の方法でエアチャージ栓のフィルターをお手入れする。
- 灯油がなくなっている。
➔灯油を補充し、運転スイッチを「切」「入」する。
- 凍結している。
➔P27「凍結して、お湯や水が出なくなったら」を確認し、必要な処置をする。
- 送油経路に空気が残っている。
➔空気抜きをする。(P10)
- 運転スイッチを入れてすぐに給湯栓を開けても、貯湯槽のお湯が充分にあたままっていない場合、設定温度のお湯にならないことがあります。
➔給湯栓をいったん閉めてしばらく待った後、使用する。

❓ お湯がぬるい

- お湯を出しすぎると、しくみ上、お湯の温度が下がることがあります。
➔給湯栓をもっと絞ってお湯の量を減らすと、お湯の温度は安定します。
- お風呂沸かしや追いだきと給湯を同時に使うと、お湯の温度が一時的に下がる場合がありますが、しばらくすると安定します。
➔異常ではありません。

❓ 設定温度より熱いお湯が出る

- 給湯温度を下げても、貯湯槽に高温のお湯が残っていると、しばらくは高温のお湯が出ます。(P12)
➔異常ではありません。

? 給湯栓から出るお湯の量が少ない

- エアチャージ栓のフィルターにゴミなどが詰まっている。
→P31の方法でフィルターをお手入れする。

? お湯が白くにごって見える

- 水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものです。
→異常ではありません。

? 給湯栓から出るお湯の量が変化する

- お湯を使用中に、他の場所でお湯を使用したりふろ自動や追いだきをすると、お湯の量が減る場合があります。
→異常ではありません。
他の場所での使用をやめたり、ふろ自動や追いだきが終わると、元に戻ります。
- 水道の圧力や配管条件によっては、お湯の量が変化する場合があります。また、水栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、お湯の量が変化するものがあります。
→異常ではありません。

? 特定の給湯栓から出るお湯の量が少ない、ぬるい

- 他の給湯栓では問題なくお湯を使用できる場合は、対象の給湯栓が故障している可能性があります。
→対象の給湯栓メーカーに連絡する。

おふろ

? 浴槽に水がないのに追いだきしてしまった

- 空だきにはなりませんので、ご安心ください。追いだき操作後しばらくそのままにしても、空だき安全装置ははたらいて、空だきになる前に機器が停止します。
→故障表示「632」を表示した場合は、運転スイッチを「切」「入」すれば、故障表示は消えます。

? 沸かしはじめに、浴槽の循環アダプターから「ボコ、ボコ」と空気の出る音がある

- おふろの配管などにたまった空気が出る音です。
→異常ではありません。

? おふろのお湯がぬるい、おふろのお湯が熱い

- 浴槽の循環アダプターのフィルターに、ゴミや毛髪などが詰まっている。
→P31の方法でお手入れする。
- 浴槽の循環アダプターのフィルターが確実に取り付けられていない。
→P31の方法で確実に取り付ける。

? 追いだきができない、追いだきが途中で停止した

- 浴槽の循環アダプターのフィルターに、ゴミや毛髪などが詰まっている。
→P31の方法でお手入れする。

? 追いだき時、浴槽の循環アダプターから出るお湯の温度が変化する

- しくみ上、断続的に燃焼と消火をくりかえすことがあります。
→異常ではありません。

? おふろを使用していないのに、浴槽の循環アダプターからお湯(水)が出る

- 凍結予防がはたらいたときにポンプが作動すると、循環アダプターから高温のお湯が出る場合があります。
→異常ではありません。

? おふろを沸かしていないのに、浴槽のお湯(水)があたたかくなる

- 浴槽にお湯(水)がある状態で運転スイッチを「入」にしておくと、凍結予防がはたらいたときに、ポンプが浴槽のお湯(水)を循環させるため、浴槽のお湯(水)があたたまります。
→異常ではありません。
運転スイッチを「切」にしておくと、凍結予防がはたらいてもお湯(水)はあたたまりません。

機器全般

? 排気口・(給)排気筒トップから湯気(白い煙のようなもの)が出る

- 冬に吐く息が白く見えるように、排気ガスの水蒸気が白く見えます。
→異常ではありません。

? 機器から水漏れしている

- 【逃し弁・ホッパーから水(お湯)が出ている場合】燃焼等により器具内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置(逃し弁)のはたらきで、逃し弁から水滴が落ちることがあります。(逃し弁内蔵タイプの場合は、ホッパーからお湯が出ます)
→異常ではありません。

? 運転中にときどき「カチッ」という音がある
モーターが動く音(ウィン、ウィン)がある

- しくみ上、音が出ます。
→異常ではありません。

(つづく)

機器全般(つづき)

? 使用していないのに音がする

- 【運転を停止しても、しばらくの間機器からファンの回転音(ブーン)がする場合】
機器内に残った排気ガスを排出するためにファンが作動する音です。
→異常ではありません。
- ポンプが自動的に作動する音です。
 - ・追いだき終了後(お湯をませるため)
 - ・気温が低いとき(凍結予防のため)→異常ではありません。

? 浴槽の循環アダプターから湯気が出たり、循環アダプターのまわりが高温になったりする

- お湯を使用すると、機器内があたためられて、配管に残っている水が湯気になって出ることがあります。
→異常ではありません。

? 水が青く見える 浴槽や洗面台が青く変色した

- 水中に含まれる微量の銅イオンと、人体のアカやせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、浴槽や洗面台が青く着色することがあります。
→こまめに掃除をして湯アカやせっけん成分を洗い流すことで、これを予防できます。

リモコンの表示や画面など

? 運転ランプが点灯しない

- 電源プラグが抜けている。
→電源プラグを確認する。

? 時計表示が「0:00」(台所リモコン)や「-:--」(浴室リモコン)になっている

- 停電のあとや電源プラグを抜いたあとは「0:00」「-:--」になる場合があります。
→時計を合わせ直す。(P17)

? 炎マーク・燃焼ランプが点灯したり、消灯したり お湯を使っていないのに燃焼する

- 貯湯槽のお湯の温度を一定に保つために、断続的に燃焼と消火をくりかえすことがあります。
→異常ではありません。

? 音声ガイド「oF(なし)」の設定にしても、音声が出る

- 「oF(なし)」の設定にしても、やけど予防のため、「熱いお湯が出ます」はお知らせするしくみになっています。
→異常ではありません。
お知らせしないようにするには、音量を「0(消音)」に設定してください。(P23,25)

温度が変えられない

? 給湯温度の調節ができない

- 操作しているリモコンが優先になっていない。
→優先切替する。(P20)

リモコンに3桁の英数字が点滅しているとき<故障表示>

●不具合が生じたとき、故障表示が点滅します。台所リモコンでは、運転ランプと優先ランプも点滅します。下表に応じた処置をしてください。

故障ではありません □：原因

温度表示の前に「H」が出る □ 設定した給湯温度より貯湯槽のお湯の温度の方が約10℃以上高いことをお知らせ

お客さまで対処できるもの □：原因 →：処置

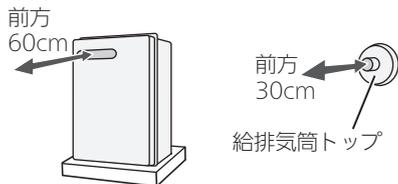
- 012 □ 連続90分以上追いだきした
→①運転スイッチを「切」にし、再度「入」にする。
②浴槽のお湯の温度が高温になっている場合は、安全のため点検を受ける。
- 100 □ 耐震自動消火装置の作動
→運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常。
(地震による場合は機器の設置場所へ行き、周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れがないか確認してから操作してください)

- 110 □ 燃焼制御装置の非検知
120 □ 灯油切れの可能性
□ オイルタンクや機器のオイルストレーナーに水が混じっている可能性
□ 不完全燃焼の可能性(不完全燃焼している場合は、機器からゴーゴーと低めの音がします)
→①運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にしたあと、給湯栓を開いて表示が出なければ正常。
② ①の操作後も表示が出る場合は、オイルタンクの残量を確認し、減っていれば給油する。(P10)
その後、再度①の操作をする。

上記①・②の操作後も表示が出る場合

【屋外設置形、または屋内設置・強制給排気形の場合】

③ ②の操作後も「120」表示が出るときは、排気口の前60cm以内、または給排気筒トップの前30cm以内に物が置かれていれば取り除き、表示が出なければ正常。



※上記の操作後も「120」表示が出る場合は、販売店または弊社窓口にご連絡ください。

【屋内設置・強制排気形の場合】
販売店または弊社窓口にご連絡ください。

- 140 □ 温度ヒューズの断線
→運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常。
- 171 □ 機器に水が供給されていない(断水、凍結、給水元栓が閉まっている)
→①運転スイッチを「切」にし、再度「入」にする。
②給水元栓が閉まっている場合は開ける。断水、凍結の場合は復旧するまで待つ。
- 632 □ おふろの追いだきのとき、浴槽のお湯(水)が足りない
→①運転スイッチを「切」にし、再度「入」にする。
②浴槽の循環アダプターの上までお湯(水)を入れてから追いだきをする。
- 循環アダプターのフィルターが詰まっているか、正常に取り付けられていない
→①循環アダプターのフィルターを確認する。(詰まっていないか、正常に取り付けられているか)
②運転スイッチを「切」にし、再度「入」にして使用する。
- LL □ 【別売品の給油検知装置を設置している場合】
オイルタンクへの給油お知らせ
→オイルタンクへ給油して、表示が出なければ正常。
※残油量が多いのに表示が出る・残油量が少ないのに表示が出ない場合は、給油検知装置の調整をする。(P38)

販売店または弊社窓口にご連絡が必要です □：原因 →：処置

- 888 □ 一般的な使用で10年相当使用されたため「点検お知らせ機能」がはたらいてお知らせ
【故障ではありません】
→機器は使用できますが、安全・安心のために点検(有料)をご検討のうえ、弊社窓口にお申し込みください。

・「お客さまで対処できるもの」以外の表示が出るとき
・「お客さまで対処できるもの」の処置をしても、表示がくりかえし出るとき
・その他、わからないとき
→販売店または弊社窓口にご連絡ください。

(つづく)

困ったとき

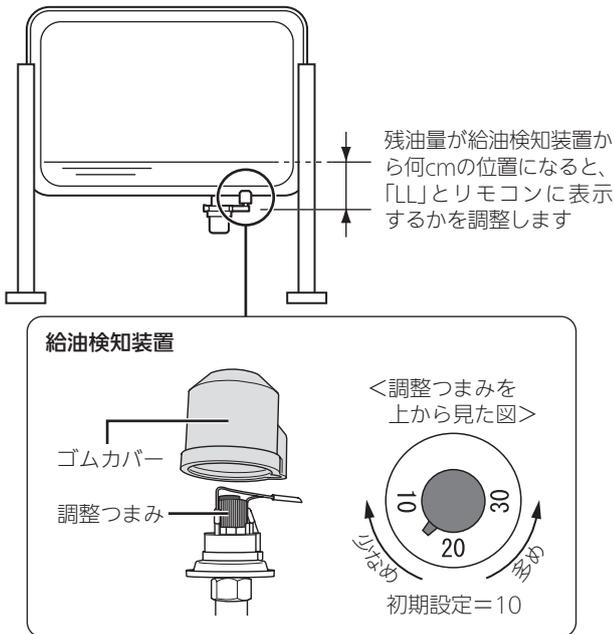
据え付け

給油検知装置FC-1(別売品)の調整方法

オイルタンクの送油バルブ付近に給油検知装置FC-1が付いている場合、設定した残油量になるとリモコンに「LL」表示が出て給油時期をお知らせします。

残油量が多いのに表示が出たり、少ないのに表示が出なかったりする場合は、以下の手順で給油検知装置の調整をしてください。

(設置例)



①ゴムカバーを外す

②調整つまみで調整する

【残油量が多いのに お知らせ表示が出た場合】
目盛を「10」側に回す。(残油量が少なめで表示が出ます)

【残油量が少ないのに お知らせ表示が出ない場合】
目盛を「30」側に回す。(残油量が多めで表示が出ます)

③調整後、ゴムカバーを元どおり取り付ける

※給油検知装置は防水型ではありません。

ゴムカバーが確実に取り付けられていないと、雨水などが入って給油検知装置が故障する原因になります。

お知らせ

- 送油配管内部に空気が入っていると、お知らせ表示を出さず位置がばらつくことがあります。(空気抜きの方法→P10)
- 給油検知装置は傾いて取り付けられている場合がありますが、性能上、問題ありません。

据え付け場所の選定および標準据え付け例

据え付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「特に注意していただきたいこと(安全のため必ずお守りください)」をお読みになり、販売店または据え付け業者とよくご相談してください。また「標準据え付け例」については、工事説明書の「標準設置図例」をご確認ください。

騒音防止について

設置場所の選びかた次第で騒音は大きく変わります。騒音公害とならないよう、充分配慮して設置場所を選択してください。(販売店とよく相談してください)

- 夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の使用には気を配りましょう。
- 隣家からなるべく離して設置してください。
- ブロック塀などが近くにある場合は、音が反響して大きくなる場合がありますのでご注意ください。

据え付け後の確認

据え付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「特に注意していただきたいこと(安全のため必ずお守りください)」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据え付けられているかどうかを確認してください。

試運転

「試運転」については、工事説明書の「試運転」をご確認ください。

主な仕様

- 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

(上段) 製品名 (下段) 型式の呼び	OTX-4707YV	—	OTX-4717YV	—
	OTX-4707YV (OTX-4707AYV)		OTX-4717YV (OTX-4717SAYV)	
	OTX-4707YSV	OTX-H4707YSV	OTX-4717YSV	OTX-H4717YSV
	OTX-4707YSV (OTX-4707AYV)	OTX-H4707YSV (OTX-H4707SAYSV)	OTX-4717YSV (OTX-4717SAYV)	OTX-H4717YSV (OTX-H4717AYSV)
種類	燃焼方式	圧力噴霧式		
	給排気方式	屋外用開放形		屋外用開放形／屋外用強制排気形
	給水方式	水道直結式(減圧弁／逃し弁内蔵形)		
	加熱形態	貯湯式急速加熱形		
	加熱方式	1缶2水路		
	循環方式	強制循環式		
点火方式	高圧放電式			
使用燃料	灯油(JIS1号灯油)			
燃料消費量	給湯側	51.4kW(5.0L/h)		
湯沸効率	ふろ側	70.8%		
連続給湯効率	給湯側	87.5%		
連続給湯出力	給湯側	45.0kW		
熱交換器容量	給湯側	12.5L		
	ふろ側	1.3L		
使用圧力	0.1MPa以下	—	0.1MPa以下	—
最高圧力	—	0.2MPa	—	0.2MPa
伝熱面積	給湯側	0.96m ²		
外形寸法	高さ900mm×幅590mm×奥行295mm		高さ880mm×幅280mm×奥行520mm	
質量	41kg		36kg	35kg
電源電圧及び周波数	AC100V 50/60Hz			
定格消費電力	給湯使用	点火時：105W/100W 燃焼時：82W/79W		
	給湯・ふろ同時使用	点火時：165W/160W 燃焼時：140W/135W		
電力	凍結予防ヒーター	93W	77W	93W
待機時消費電力	1.7W			
排気筒の呼び径	—		106mm(排気アダプターセットHVK-A使用時)	
排気温度	260℃以下			
騒音レベル	51dB(Aレンジ)			
基準浴槽	180L			
電流ヒューズ	10A			
温度ヒューズ	150℃			
安全装置	対震自動消火装置、点火安全装置、停電安全装置、燃焼制御装置、電動機の過負荷保護装置、過熱防止装置、【OTX-H4707YSV,H4717YSVのみ】空だき防止装置			
付属品	ホッパー、転倒防止板、袋ナット、台所リモコン及び取付部材、浴室リモコン及び取付部材			

(上段) 製品名 (下段) 型式の呼び	OTX-3707YV	OTX-3707Y	-	OTX-3717YV	-
	OTX-3707YV (OTX-3707AYV)	OTX-3707Y (OTX-3707AYV)		OTX-3717YV (OTX-3717SAYV)	
	OTX-3707YSV	OTX-3707YS	OTX-3707YS-SLP	OTX-3717YSV	OTX-3717YS-SLP
	OTX-3707YSV (OTX-3707AYV)	OTX-3707YS (OTX-3707AYV)	OTX-3707YS-SLP (OTX-3707AYV)	OTX-3717YSV (OTX-3717SAYV)	OTX-3717YS-SLP (OTX-3717SAYV)
種類	燃 焼 方 式	圧力噴霧式			
	給 排 気 方 式	屋外用開放形		屋外用開放形／屋外用強制排気形	
	給 水 方 式	水道直結式(減圧弁 ／逃し弁内蔵形)	水道直結式(減圧弁／逃し弁必要)またはシ スターン式	水道直結式(減圧弁／ 逃し弁内蔵形)	水道直結式(減圧弁／ 逃し弁必要)またはシ スターン式
	加 熱 形 態	貯湯式急速加熱形			
	加 熱 方 式	1缶2水路			
	循 環 方 式	強制循環式			
点 火 方 式	高圧放電式				
使 用 燃 料	灯油(JIS1号灯油)				
燃 料 消 費 量	給湯側	43.2kW(4.2L/h)			
湯 沸 効 率	ふろ側	70.8%			
連 続 給 湯 効 率	給湯側	87.5%			
連 続 給 湯 出 力	給湯側	37.8kW			
熱交換器容量	給湯側	13.0L			
	ふろ側	1.3L			
使 用 圧 力	0.1MPa以下				
伝 熱 面 積	給湯側	0.83m ²			
外 形 寸 法	高さ900mm×幅590mm×奥行295mm			高さ880mm×幅280mm×奥行520mm	
質 量	40kg	39kg	34kg	33kg	
電 源 電 圧 及 び 周 波 数	AC100V 50/60Hz				
定 格 消 費 電 力	給 湯 使 用	点火時：100W/95W 燃焼時：77W/75W			
	給湯・ふろ同時使用	点火時：155W/150W 燃焼時：130W/130W			
	凍結予防ヒーター	93W	61W	93W	77W
待 機 時 消 費 電 力	1.7W				
排 気 筒 の 呼 び 径	-			106mm(排気アダプターセットHVK-A使用時)	
排 気 温 度	260℃以下				
騒 音 レ ベ ル	50dB(Aレンジ)				
基 準 浴 槽	180L				
電 流 ヒ ュ ー ズ	10A				
温 度 ヒ ュ ー ズ	150℃				
安 全 装 置	対震自動消火装置、点火安全装置、停電安全装置、燃焼制御装置、電動機の過負荷保護装置、過熱防止装置				
付 属 品	転倒防止板、袋ナット、台所リモコン及び取付部材、浴室リモコン及び取付部材、 【OTX-3707YV,3707YSV,3717YV,3717YSVのみ】ホッパー				

(上段) 製品名 (下段) 型式の呼び	OTX-4707FV OTX-4707FV (OTX-4707AFV)	OTX-4707F OTX-4707F (OTX-4707AFV)	OTX-4707FF OTX-4707FF	OTX-H4707FV OTX-H4707FV	
種類	燃 焼 方 式	圧力噴霧式			
	給 排 気 方 式	屋内用半密閉式強制排気形	屋内用密閉式強制給排気形	屋内用半密閉式強制排気形	
	給 水 方 式	水道直結式(減圧弁/逃し弁内蔵形)	水道直結式(減圧弁/逃し弁必要)またはシスターン式	水道直結式(減圧弁/逃し弁内蔵形)	
	加 熱 形 態	貯湯式急速加熱形			
	加 熱 方 式	1缶2水路			
	循 環 方 式	強制循環式			
点 火 方 式	高圧放電式				
使 用 燃 料	灯油(JIS1号灯油)				
燃 料 消 費 量	給湯側	51.4kW(5.0L/h)			
湯 沸 効 率	ふろ側	70.8%			
連 続 給 湯 効 率	給湯側	87.5%			
連 続 給 湯 出 力	給湯側	45.0kW			
熱交換器容量	給湯側	12.5L			
	ふろ側	1.3L			
使 用 圧 力	0.1MPa以下			—	
最 高 圧 力	—			0.2MPa	
伝 熱 面 積	給湯側	0.96m ²			
外 形 寸 法	高さ880mm×幅280mm×奥行520mm				
質 量	36kg	35kg	36kg		
電 源 電 圧 及 び 周 波 数	AC100V 50/60Hz				
定 格 消 費 電 力	給 湯 使 用	点火時：105W/100W 燃焼時：82W/79W		点火時：110W/105W 燃焼時：85W/82W	点火時：105W/100W 燃焼時：82W/79W
	給湯・ふろ同時使用	点火時：165W/160W 燃焼時：140W/135W		点火時：170W/165W 燃焼時：145W/140W	点火時：165W/160W 燃焼時：140W/135W
	凍結予防ヒーター	93W	77W	93W	
待 機 時 消 費 電 力	1.7W				
排 気 筒 の 呼 び 径	106mm		—	106mm	
給 排 気 筒 の 型 式 の 呼 び	—		FF-101A	—	
給 排 気 筒 の 呼 び 径	—		D80	—	
給 排 気 筒 の 壁 貫 通 部 の 孔 径	—		120mm	—	
排 気 温 度	260℃以下				
騒 音 レ ベ ル	49dB(Aレンジ)				
基 準 浴 槽	180L				
電 流 ヒ ュ ー ズ	10A				
温 度 ヒ ュ ー ズ	150℃				
安 全 装 置	対震自動消火装置、点火安全装置、停電安全装置、燃焼制御装置、電動機の過負荷保護装置、過熱防止装置、【OTX-H4707FVのみ】空だき防止装置				
付 属 品	ゴム製送油管、ゴム製送油管締付バンド、呼び水ホース、ピンバンド、タケノコパイプセット、オイル接続管、延長排気管、転倒防止板、操作部カバー、浴室リモコン及び取付部材、【OTX-4707FV,H4707FVのみ】ホッパー、【OTX-4707FV,4707F,H4707FVのみ】排気筒トップ				

(上段) 製品名 (下段) 型式の呼び	OTX-3707FV OTX-3707FV (OTX-3707AFV)	OTX-3707F OTX-3707F (OTX-3707AFV)	OTX-3707F-SLP OTX-3707F-SLP (OTX-3707AFV)	OTX-3707FF OTX-3707FF (OTX-3707SAFF)	OTX-3707FF-SLP OTX-3707FF-SLP (OTX-3707SAFF)
種類	燃 焼 方 式	圧力噴霧式			
	給 排 気 方 式	屋内用半密閉式強制排気形		屋内用密閉式強制給排気形	
	給 水 方 式	水道直結式(減圧弁/ 逃し弁内蔵形)	水道直結式(減圧弁/逃し弁必要)またはシスターン式		
	加 熱 形 態	貯湯式急速加熱形			
	加 熱 方 式	1缶2水路			
	循 環 方 式	強制循環式			
点 火 方 式	高圧放電式				
使 用 燃 料	灯油(JIS1号灯油)				
燃 料 消 費 量	給湯側	43.2kW(4.2L/h)			
湯 沸 効 率	ふろ側	70.8%			
連 続 給 湯 効 率	給湯側	87.5%			
連 続 給 湯 出 力	給湯側	37.8kW			
熱交換器容量	給湯側	13.0L			
	ふろ側	1.3L			
使 用 圧 力	0.1MPa以下				
伝 熱 面 積	給湯側	0.83m ²			
外 形 寸 法	高さ880mm×幅280mm×奥行520mm				
質 量	34kg				
電 源 電 圧 及 び 周 波 数	AC100V 50/60Hz				
定 格 消 費 電 力	給 湯 使 用	点火時：100W/95W 燃焼時：77W/75W		点火時：100W/97W 燃焼時：78W/76W	
	給湯・ふろ同時使用	点火時：155W/150W 燃焼時：130W/130W		点火時：160W/150W 燃焼時：135W/135W	
	凍結予防ヒーター	93W	77W		
待 機 時 消 費 電 力	1.7W				
排 気 筒 の 呼 び 径	106mm		—		
給 排 気 筒 の 型 式 の 呼 び	—		FF-101A		
給 排 気 筒 の 呼 び 径	—		D80		
給 排 気 筒 の 壁 貫 通 部 の 孔 径	—		120mm		
排 気 温 度	260℃以下				
騒 音 レ ベ ル	47dB(Aレンジ)				
基 準 浴 槽	180L				
電 流 ヒ ュ ー ズ	10A				
温 度 ヒ ュ ー ズ	150℃				
安 全 装 置	対震自動消火装置、点火安全装置、停電安全装置、燃焼制御装置、電動機の過負荷保護装置、過熱防止装置				
付 属 品	ゴム製送油管、ゴム製送油管締付バンド、呼び水ホース、ピンバンド、タケノコパイプセット、オイル接続管、延長排気管、転倒防止板、操作部カバー、浴室リモコン及び取付部材、【OTX-3707FVのみ】ホッパー、【OTX-3707FV,3707F,3707F-SLPのみ】排気筒トップ				

無料修理保証書

本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店または、弊社窓口にご連絡ください。

お客さま	ご芳名	様	店名	
	ご住所		住所	扱 者 印
お買い上げ日	年	月	日	電話番号

製品名	OTX-4707YV	OTX-3707YV	OTX-3717YV	OTX-H4707YSV
	OTX-4707YSV	OTX-3707YSV	OTX-3717YSV	OTX-H4707FV
	OTX-4707FV	OTX-3707Y	OTX-3717YS-SLP	OTX-H4717YSV
	OTX-4707F	OTX-3707YS		
	OTX-4707FF	OTX-3707YS-SLP		
	OTX-4717YV	OTX-3707FV		
	OTX-4717YSV	OTX-3707F		
		OTX-3707F-SLP		
	OTX-3707FF			
	OTX-3707FF-SLP			

＜保証対象部分・保証期間＞

- 保証対象部分：機器本体、リモコン
- 保証期間：お買い上げ日より1年間。但し、熱交換器については3年間とします。

＜無料修理規定＞

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、弊社が無料修理致します。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、弊社窓口にご連絡の上、修理に際して本書をご提示ください。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店または、弊社窓口にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理の依頼ができない場合は、弊社窓口にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書によらない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買い上げ後の専門業者以外による取付場所の移動、落下等による故障及び損傷。
 - 建築躯体の変形等機器本体以外に起因する当該機器の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象。
 - 火災、塩害、地震、風水害、雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、異常電流、異常電圧、異常電磁波、異常周波数、ねずみ・鳥・くも・昆虫類等の侵入及びその他の天災、地震による故障及び損傷。
 - 水道管の錆び等異物の流入による故障及び損傷。
 - 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障及び損傷。
 - 工事説明書に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた不具合、故障及び損傷。
 - 業務用(喫茶店、理美容院、飲食店、事務所等)でご使用になった場合。
 - 機器に表示してある以外の使用燃料・使用電源(電圧・周波数)でご使用になった場合。
 - 温泉水を給水したことに起因する不具合。
 - 【OTX-Hシリーズの場合】井戸水・地下水を給水したことに起因する不具合。
【OTX-Hシリーズ以外の場合】井戸水・地下水を給水したことにより発生した析出物(炭酸カルシウムなど)に起因する不具合。
 - 排水不良等による機器の冠水等に起因する不具合。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

保証責任者

株式会社  **ノーリリ**

神戸市中央区江戸町 93 番地

■お客さまへ

- この保証書をお受け取りになる時にお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入・捺印してあることを確認してください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては、取扱説明書の「アフターサービス」の項をご覧ください。
- この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

アフターサービス

サービスを依頼される時

P34～38の「故障・異常かな?と思ったら」「リモコンに3桁の英数字が点滅しているとき<故障表示>」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または弊社窓口にご連絡ください。

※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。(工事店にご相談ください)

連絡して
いただき
たい内容

- 製品名(機器に貼り付けてある銘板(P2)をご覧ください)
- お買い上げ日(保証書をご覧ください)
- 異常の状況(故障表示など、できるだけくわしく)
- ご住所、ご氏名、電話番号
- 訪問ご希望日

修理料金
のしくみ

修理料金は①技術料+②部品代+③出張料などで構成されています。

- ①診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。
- ②修理に使用した部品代金です。
- ③製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。

保証について

この取扱説明書には保証書がついています。必ず販売店名・お買い上げ日などが記入されているのを確認してください。

保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後7年です。

なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

修理・点検・商品についてのお問い合わせは・・・

■ よくあるご質問をインターネットで
ご確認いただけます



※通信料金はお客様のご負担となります。
※リンク先の内容は、予告なく変更・削除される場合があります。

■ インターネットでの修理のご依頼は
こちらから



■ お電話でのお問い合わせ

株式会社ノーリツ
コンタクトセンター **通話料金無料** **0120-911-026**

携帯電話からのお問い合わせは・・・ **0570-064-910** (通話料がかかります)

- PHS・IP電話等でつながらない場合は、一般電話・携帯電話からおかけ直してください。
- お問い合わせの内容確認と正確な対応のため、録音させていただく場合がございます。また、発信電話番号通知をお願いしております。非通知設定をご利用の場合は、はじめに「186」をダイヤルし発信電話番号通知のご協力をお願いいたします。

(240124)